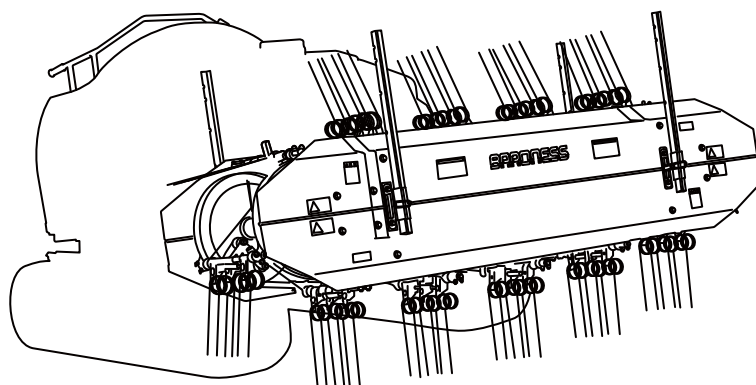


H2000R

両回転ヘーメーカ

取扱説明書



Serial No. H2000R : 10031-

「必読」
ご使用前に必ず本書をお読みください。

BARONNESS[®]
Quality on Demand

Ver.2.0

H2000R

ごあいさつ

このたびは、パロネス製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本書は、本機の正しい取り扱い方法と調整方法、また点検方法について説明しています。
機械をご使用になる前に必ず本書をお読みいただき、内容を十分にご理解の上、ご使用ください。
いつまでも優れた性能を発揮させ、安全な作業をしていただきますようお願いいたします。

本書を読んで製品の運転方法や整備方法を十分に理解し、他人に迷惑の掛からない、適切な方法でご使用ください。

本機を適切かつ安全に使用するのをお客様の責任です。

本書に無い保守、整備などは決して行わないでください。

整備を行う場合は専門知識のある要員によって作業を行ってください。

整備について、また純正部品についてなど、分からないことはお気軽に弊社代理店、販売店または、弊社におたずねください。

お問い合わせの際には、必ず本機の型式と製造番号をお知らせください。

本機を貸与または、譲渡する場合は本機と一緒に本書をお渡しください。





株式会社 共栄社

注意

本書記載事項は、改良のため予告なしに変更する場合があります。
部品交換を行う場合は、必ず「BARONESS 純正部品」または「弊社指定部品」を使用してください。
純正部品以外の部品を使用して生じた不具合については責任を負いかねます。

危険警告記号の説明

本書では安全に関する重要な取り扱い上の注意事項について、危険警告記号を使用し、次のように表示しています。

 696cq5-001	危険警告記号
<p>この記号は「危険」「警告」「注意」に関する項目を意味します。 いずれも安全確保のための重要事項が記載してありますので、注意してお読みいただき、十分理解してから作業を行ってください。 これらを遵守されない場合、事故につながる恐れがあります。</p>	
<p> 危険 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示しています。</p> <p> 警告 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示しています。</p> <p> 注意 その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのある、または物的損傷の発生が予測されるものを示しています。</p> <p>重要 製品の構造などの注意点を示しています。</p>	

使用目的

本機は、雑草刈り後の集草作業を目的とした機械です。

この作業目的以外で使用したり、機械の改造をしないでください。

本機をその他の作業目的で使用したり、改造すると大変危険であり、機械を損傷する原因にもなります。

安全	Page 1-1
安全上の注意事項	Page 1-2
廃棄	Page 2-1
廃棄処分	Page 2-2
製品概要	Page 3-1
仕様	Page 3-2
各部の名称	Page 3-4
警告ラベルと指示ラベル	Page 3-5
取り扱い説明	Page 4-1
取り付け前の調整	Page 4-2
使用前の点検	Page 4-19
締め付けトルク	Page 4-23
使用前の調整	Page 4-25
各部の操作方法	Page 4-26
移動	Page 4-29
作業	Page 4-29
運搬	Page 4-30
メンテナンス	Page 5-1
メンテナンス上の注意	Page 5-2
メンテナンススケジュール	Page 5-2
つり上げ	Page 5-4
グリースアップ	Page 5-6
メンテナンス・作業部	Page 5-7
長期保管	Page 5-9

H2000R

目次

安全上の注意事項	Page 1-2
トレーニング	Page 1-2
運転の前に	Page 1-2
運転操作	Page 1-3
保守と保管	Page 1-4

この製品は、日本国内での使用を前提にしています。したがって、海外諸国での安全規格等の適用・認定等は実施していません。

誤使用や整備不良は負傷や死亡事故につながります。事故を防止するために、以下に示す安全のための注意事項を必ずお守りください。

特に危険警告記号のついた事項にご注意ください。危険警告記号は、「注意」「警告」または「危険」の文字と共に表示され、いずれも安全作業のための重要事項を示します。

これらを遵守されないと人身事故につながる恐れがありますので、十分にご注意ください。

⚠ 危険

本機は、安全な取り扱いができるように設計されており、工場出荷時には十分な試運転、検査を重ねた上で出荷しております。

事故防止のための安全装置は装備しておりますが、これらは適切な操作、取り扱い、及び日常の管理方法が大きく影響します。

機械を適切に使用または管理しない場合、人身事故につながる恐れがあります。

以下の安全指示に従い、安全な作業を行ってください。

安全上の注意事項

以下の注意事項は、CEN 規格 EN 836:1997、国際規格 ISO 5395:1990 および米国規格 ANSI B71.4 - 2004 より指示されているものを含んでいます。

トレーニング

1. 本書や関連する機器の説明書をよくお読みください。
各部の操作方法や警告ラベル、本機の正しい使用方法に十分慣れておきましょう。
2. オペレーター、整備士が日本語を読めない場合には、オーナーの責任において、本書の内容を十分に説明してください。
3. すべてのオペレーター、整備士に適切なトレーニングを行ってください。
トレーニングはオーナーの責任です。
特に以下の点についての十分な指導が必要です。
 - [1] 乗用機械を取り扱うときは注意と集中が必要である。
 - [2] 斜面で機体が滑り始めるとブレーキで制御することは非常に難しくなる。
斜面で制御不能となる主な原因：
 - クローラーのグリップ不足
 - 速度の出しすぎ
 - 不適切なブレーキ操作

- 不適当な機種選定
- 地表条件（凸凹、凍結、ぬかるみ）特に傾斜角度を正しく把握していない場合
- 不適切な連結と重量分配

4. 子供（18才未満）や正しい運転知識の無い方には機械を操作させないでください。
地域によっては機械のオペレーターに年齢制限を設けていることがありますのでご注意ください。
5. オーナーやオペレーターは自分自身や他の安全に責任があり、オーナーやオペレーターの注意によって事故を防止することができます。
6. 人身事故や器物損壊などについてはオーナー、オペレーター、整備士が責任を負うものであることを忘れないでください。

運転の前に

1. 作業場所を良く観察し、安全かつ適切に作業するには、どのようなアクセサリーやアタッチメントが必要かを判断してください。
メーカーが認めた以外のアクセサリーやアタッチメントを使用しないでください。
2. 作業には安全靴と長ズボン、ヘルメット、保護メガネ、マスク、および聴覚保護具（イヤーマフ）を着用してください。
長い髪、だぶついた衣服、装飾品などは可動部に巻き込まれる危険があります。
また、裸足やサンダルで機械を運転しないでください。
3. 機械が使われる区域を点検し、小石、玩具、および針金のような、機械がはね飛ばす可能性のあるすべての物体を取り除いてください。
4. 燃料の取り扱いには十分注意してください。

⚠ 警告

燃料は引火性が高いので、以下の注意を必ず守ってください。

- [1] 燃料は専用の容器に保管する。
- [2] 給油はエンジンを始動する前に行う。
エンジンの運転中やエンジンが熱いときに燃料タンクのフタを開けたり給油したりしない。
- [3] 給油は必ず屋外で行い、給油中は火気厳禁とする。
喫煙しない。
- [4] 燃料がこぼれたらエンジンを始動せずに、機械を別の場所に動かし、気化した燃料ガスが十分に拡散するまで引火の原因となるものを近づけない。

- [5] 燃料タンクや燃料容器のフタは確実に閉める。
5. 運転操作装置（ハンドル、ペダル、レバー等）、安全装置、防護カバーが正しく取り付けられ、正しく機能しているか点検してください。これらが正しく機能しないときには作業を行わないでください。
 6. ブレーキの効きが悪かったり、ハンドルに著しいガタがある場合は、必ず調整、修理してから使用してください。
 7. マフラーが破損したら必ず交換してください。
 8. 使用前にナイフ、ナイフの取り付けピン、ナイフ軸 Assy を目視で点検してください。バランスを狂わせないようにするために、損傷したナイフとボルトはセットで交換してください。
 8. エンジンのガバナーの設定を変えたり、エンジンの回転速度を上げすぎたりしないでください。エンジンを規定以上の速度で運転すると、人身事故を起こす危険が増大します。
 9. 運転位置を離れる場合は次を厳守してください。
 - [1] 平らな場所に停止する。
 - [2] 作業部の動力を遮断し、作業部を下げる。
 - [3] 走行シフトをニュートラルにして、駐車ブレーキをかける。
 - [4] エンジンを止め、キーを抜き取る。
 10. 以下のような状況になった場合には、アタッチメントの駆動を停止し、エンジンを止め、キーを抜き取ってください。
 - [1] 燃料を給油するとき。
 - [2] 刈高を調整するとき。
ただし運転位置から遠隔操作で行える場合は除きます。
 - [3] 詰まりを取り除くとき。
 - [4] 機械の点検、清掃、整備作業等をするとき。
 - [5] 機械に異物がぶつかったり、異常な振動を感じたとき。
機械を再始動する前に機械の損傷を点検・修理してください。

運転操作

1. 有毒な一酸化炭素ガスがたまる可能性のある閉め切った場所では、エンジンを作動しないでください。
2. 十分に明るい場所でのみ運転し、穴や、隠れた危険を避けるようにしてください。
3. エンジンを始動する前に作業部への駆動をすべて遮断し、走行シフトをニュートラルにして、駐車ブレーキをかけてください。運転位置でエンジンを始動してください。
4. (傾斜地においては) できるだけ、濡れた草地での運転を避けてください。
5. 「安全な斜面」はありません。草の生えた斜面での作業には特に注意が必要です。転倒を防ぐために
 - [1] 斜面では急停止、急発進しない。
 - [2] 斜面の走行や旋回は低速で行う。
 - [3] 凸凹や穴、隠れた障害物が無いか常に注意する。
 - [4] 斜面を横切りながらの作業は、そのような作業のために設計された機械以外では絶対に行わない。
 - [5] 決められた角度以上の傾斜地または転倒やスリップの危険がある場所では、絶対に作業を行わない。
6. ガードが破損したり、正しく取り付けられていない状態のまま運転しないでください。インターロック装置は絶対に取り外さないでください。正しく調整した状態で使用してください。
7. 防護カバーを上げたまま、または取り外したり改造して運転しないでください。
11. 作業部や回転部に手足を近づけないでください。
12. 後進するときは、下方と後方の安全に十分注意してください。
13. オペレーター以外の人を乗せないでください。
14. 周囲に人がいるとき、特に子供やペットがいるときは、絶対に作業を行わないでください。
15. 旋回するとき、道路を横切るときなどは減速し、周囲に十分注意してください。
16. 草地以外の場所では、刃の回転を停止してください。
17. 移動走行中や作業を休んでいるときは、作業部への駆動を止めてください。
18. アタッチメント等を使用する場合、排出方向等に気をつけ、人に向けないようにしてください。また作業中は機械に人を近づけないでください。
19. アルコールや薬物を摂取した状態、また妊娠中は運転や整備をしないでください。
20. 本機をトラックやトレーラーに積載する場合は、十分注意してください。積み降ろしは平らな安全な場所で、トラックやトレーラーの駐車ブレーキをかけ、エンジンを止め、輪止めをして行ってください。

トラックやトレーラーに積載して移動するときは、本機の駐車ブレーキをかけ、エンジンを止め、強度が十分あるロープ等で機械を固定してください。

あゆみ板を使用する場合は、巾、長さ、強度が十分あり、スリップしないものを選んでください。

21. 本機を輸送する場合は、燃料コックは閉じてください。
22. 見通しの悪い曲がり角、植え込みや立ち木などの陰では安全に十分注意してください。
23. わき見運転、手放し運転はしないでください。
24. エンジン停止中はスロットルを「LOW」（かめマーク側）にしておいてください。
燃料コックが付いている場合は、燃料コックを閉じてください。

保守と保管

1. 修理・調整・清掃作業の前には、平らな場所で機械を停止し、作業部を下げ、駐車ブレーキをかけ、エンジンを停止し、キーを抜き取ってください。
また、機械のすべての動きが完全に停止したことを確認し、作業を行ってください。
2. 機械から離れるときには必ずモアユニットを下げておいてください。
ただし、モアユニットを上げた位置に確実にロックしておくことができる場合はこの限りではありません。
3. 火災防止のため、エンジンやマフラー、バッテリー、燃料タンクの周囲、作業部の周囲、および駆動部に、余分なグリース、草や木の葉、埃などがたまらないよう注意してください。
オイルや燃料がこぼれた場合はふき取ってください。
4. 閉めきった場所に本機を保管する場合は、エンジンが十分冷えていることを確認してください。
5. 本機にシートをかけて保管する場合は、過熱部分が十分冷めていることを確認してから行ってください。
6. 炎や火花がある屋内では、タンクに燃料が入った状態で保管しないでください。
7. 機械の保管・搬送時には、燃料コックが付いている機械は、燃料コックを閉じてください。
8. 炎の近くに燃料を保管しないでください。
9. 絶対に訓練を受けていない人に機械を整備させないでください。
10. 点検・整備はマフラーやエンジンが冷めてから行ってください。
11. 調整、整備等に必要な工具類は適切な管理をし、目的に合った工具を正しく使用してください。
12. 機械をジャッキアップする場合は、ジャッキスタンドなどを使用し、確実に支えてください。
13. 部品を取り外すときなど、スプリングや油圧などの圧力が一気に解放される場合がありますので、注意してください。
14. 油圧機器を取り外す等、油圧システムの整備をする場合は、必ず減圧してから行ってください。
15. 油圧システムのラインコネクターは十分に締まっているかを確認してください。
油圧をかける前に油圧ラインの接続やホースの状態を確認してください。
16. 油圧回路のピンホール漏出やノズルの油漏れを確認する場合は、絶対に手ではなく、紙や段ボール等を使用して漏出箇所を探してください。
高圧オイルは、皮膚を突き破ることがあり、人的事故をおこす恐れがありますので、十分注意してください。
万一、油圧作動油が体内に入った場合には、この種の労働災害に経験のある施設で数時間以内に外科手術を受けないと壊疽を起します。
17. 修理作業の前にはバッテリーケーブルを取り外してください。
先にマイナスケーブルを取り外してからプラスケーブルを取り外してください。
取り付ける場合は、プラスケーブルから取り付けてください。
18. 配線等が接触したり、被覆のはがれがないように注意してください。
19. ナイフの点検を行うときには、安全に十分注意してください。
[1] 必ず手袋を着用してください。
[2] 悪くなったナイフは必ず交換してください。
[3] 絶対に曲げ伸ばしや溶接で修理しないでください。
20. 可動部に手足を近づけないでください。
エンジンが作動したままで調整作業をしないでください。
21. バッテリーの充電は、火花や火気の無い換気の良い場所で行ってください。
バッテリーと充電器の接続や切り離しを行う場合は、充電器をコンセントから抜いておいてください。
また、ゴム手袋や保護メガネ等を着用し、絶縁された工具を使用してください。

22. すべての部品が良好な状態にあるか点検を怠らないでください。
消耗したり破損した部品やラベルは安全のため早期に交換してください。
23. 常に機械全体の安全を心掛け、ナットやボルト、ねじ類が十分締まっているかを確認してください。
24. 燃料タンクの清掃が必要になった場合は、屋外で作業を行ってください。

廃棄処分 Page 2-2

廃棄処分についてPage 2-2

廃棄処分

廃棄処分について

整備、修理等の作業で出た廃棄物については、地域の法律に従って適切に処分してください。

(例：廃油、不凍液、バッテリー、ゴム製品、配線等)

仕様	Page 3-2
仕様表	Page 3-2
各部の名称	Page 3-4
機番プレート	Page 3-4
警告ラベルと指示ラベル	Page 3-5
警告ラベルと指示ラベルについて	Page 3-5
警告ラベル・指示ラベル貼付位置	Page 3-5
警告ラベル・指示ラベルの説明	Page 3-6

製品概要

仕様

仕様表

HMC1560/HMC1720 セット

型式	H2000R	
寸法	全長	110 cm [290 cm]
	全巾	224 cm [224 cm]
	全高	113 cm [135 cm]
質量（燃料タンク空）	322 kg [1,610 kg / 1,625 kg]	
作業巾	200 cm	
タイヤ	形状	コイル式ダブルタイヤ
	列数	3 列
	本数	36 本（1 列：12 本）
変速	無段階	
クラッチ	ベルトテンション方式	
回転方向	両回転	
能率	10,400 m ² /h（6.5 km/h x 刈巾 x 0.8）	

※ []内は、HMC1560/HMC1720 セット時。

HM1560K セット

型式	H2000R	
寸法	全長	110 cm [290 cm]
	全巾	224 cm [224 cm]
	全高	113 cm [135 cm]
質量（燃料タンク空）	322 kg [1,673 kg]	
作業巾	200 cm	
タイヤ	形状	コイル式ダブルタイヤ
	列数	3 列
	本数	36 本（1 列：12 本）
変速	無段階	
クラッチ	ベルトテンション方式	
回転方向	両回転	
能率	10,400 m ² /h（6.5 km/h x 刈巾 x 0.8）	

※ []内は、HM1560K セット時。

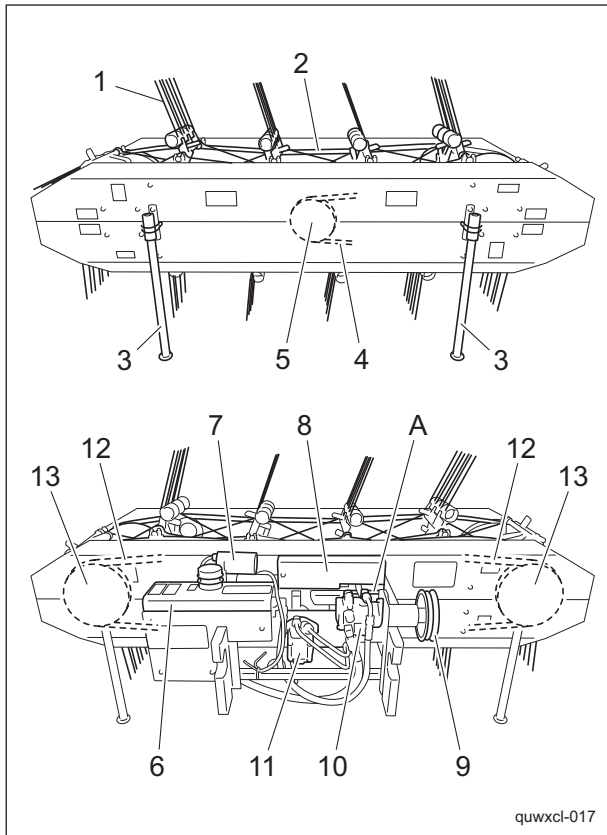
HM5500 セット

型式	H2000R	
寸法	全長	110 cm [297 cm]
	全巾	224 cm [224 cm]
	全高	113 cm [140 cm]
質量 (燃料タンク空)	322 kg [1,814 kg]	
作業巾	200 cm	
タイヤ	形状	コイル式ダブルタイヤ
	列数	3 列
	本数	36 本 (1 列 : 12 本)
変速	無段階	
クラッチ	ベルトテンション方式	
回転方向	両回転	
能率	11,360 m ² /h (7.1 km/h x 刈巾 x 0.8)	

※ []内は、HM5500 (固定ステップ仕様) セット時。

製品概要

各部の名称

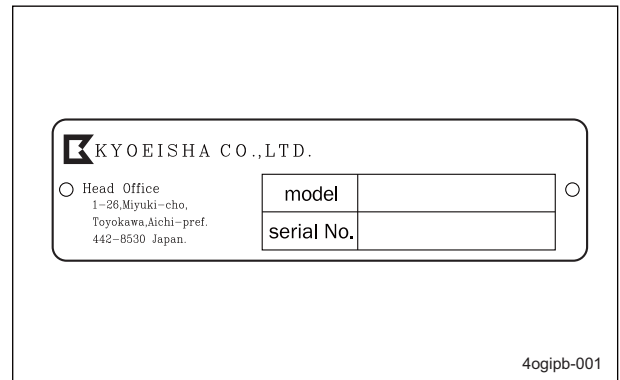


各部の名称_001

1	タイヤ
2	タイヤベルト
3	スタンド
4	駆動ベルト
5	駆動プーリー
6	油圧タンク
7	ローリング用シリンダー
8	タイヤ回転用シリンダー
9	油圧ポンプ入カプーリー
10	ピストンポンプ
11	オービットモーター
12	タイヤベルト
13	ドライブプーリー
A	機番プレート

機番プレート

機番プレートは、型式と機番が記載されています。



機番プレート_001

警告ラベルと指示ラベル

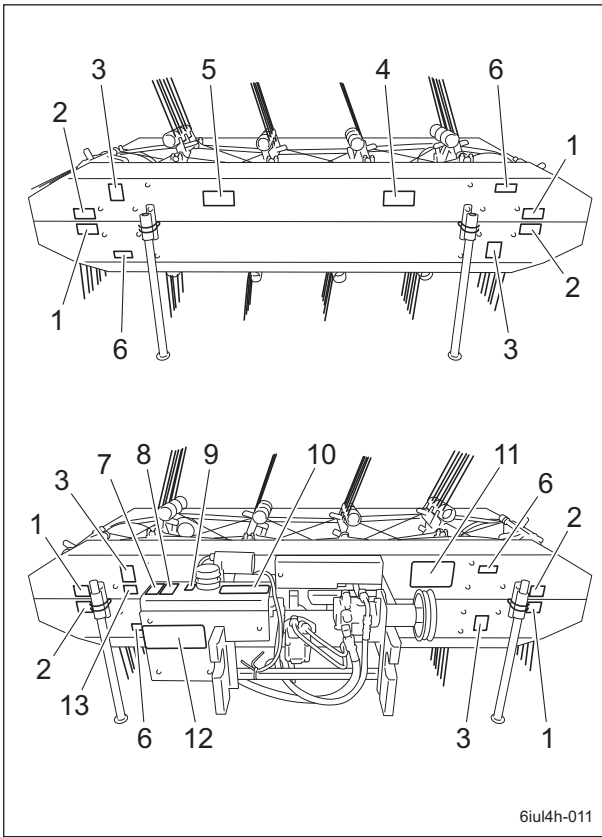
警告ラベルと指示ラベルについて



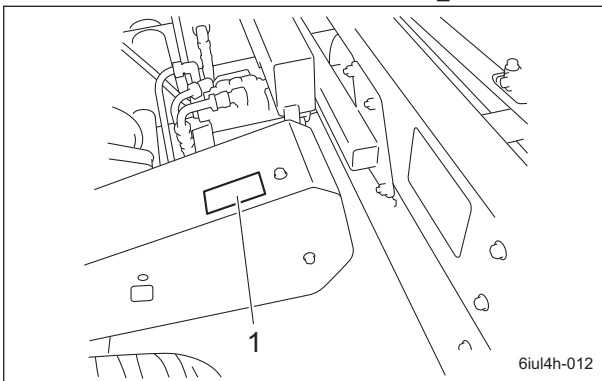
本機には、警告ラベルと指示ラベルが貼り付けられています。
ラベルはきれいに保ち、損傷や汚れ、はがれがあった場合は、新しいものと交換してください。

交換するラベルの部品番号は、パーツカタログに記載されております。
購入販売店または弊社に注文してください。

警告ラベル・指示ラベル貼付位置

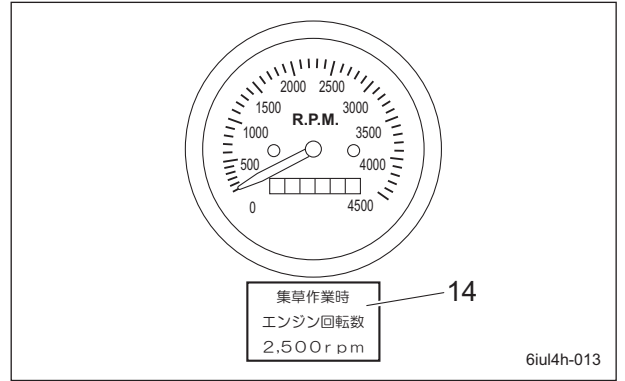


警告ラベル・指示ラベル貼付位置_001



警告ラベル・指示ラベル貼付位置_002

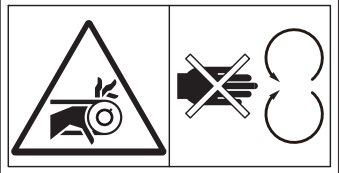
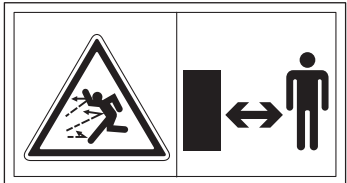

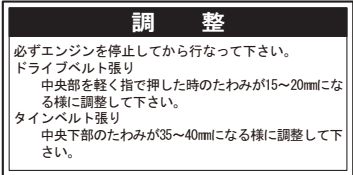
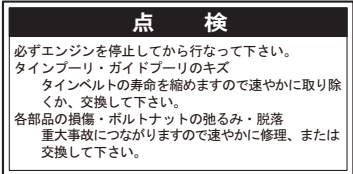
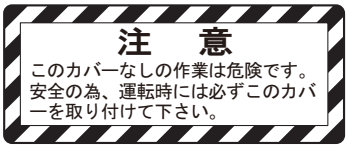
以下のラベルは、HMC1560/1720、HM1560K セット用です。


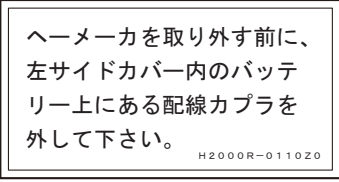
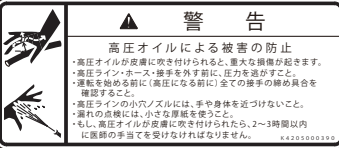


警告ラベル・指示ラベル貼付位置_003

製品概要

警告ラベル・指示ラベルの説明

1	 <p>qigqnx-012</p>	<p>K4205001530 回転物注意ラベル</p> <p>⚠ 危険</p> <p>回転物注意 - エンジン回転中はベルトに手を近づけないでください。</p>
2	 <p>qigqnx-011</p>	<p>K4205001650 飛散注意ラベル</p> <p>⚠ 危険</p> <p>飛散注意 - 刃が回転しているときは、機械から離れてください。 傍観者は、機械から安全な距離を保つようにしてください。</p>
3	 <p>qigqnx-046</p>	<p>OR84-1754-921-00 警告マーク</p>
4	 <p>qigqnx-047</p>	<p>OR84-1675-932-00 調整マーク</p>
5	 <p>qigqnx-048</p>	<p>OR84-1675-931-00 点検マーク</p>
6	 <p>qigqnx-049</p>	<p>OR83-1516-908-00 注意マーク 17</p>

7	 <p>K4205001540 qiqn-x-022</p>	<p>K4205001540 高温部注意ラベル</p>  注意 <p>高温 - 火傷をしますので、触らないでください。</p>
8	 <p>H2000R-0110Z0 qiqn-x-050</p>	<p>H2000R-0110Z0 取り外し時注意ラベル</p>
9	 <p># 46 K4209000980 qiqn-x-020</p>	<p>K4209000980 油圧作動油マーク 取扱説明書をお読みください。</p>
10	 <p>K4205000420 qiqn-x-051</p>	<p>K4205000420 オイル使用ラベル</p>
11	 <p>K4205001960 qiqn-x-052</p>	<p>K4205001960 急傾斜地注意ラベル</p>
12	 <p>K4205000390 qiqn-x-053</p>	<p>K4205000390 高圧オイル警告ラベル</p>
13	 <p>K420500054 qiqn-x-054</p>	<p>OR84-1675-938-00 使用前点検ラベル</p>

製品概要

14	<div data-bbox="178 271 528 472" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"><p>集草作業時 エンジン回転数 2,500rpm</p></div> <p data-bbox="448 483 528 501" style="text-align: right; font-size: small;">qigqnx-055</p>	<p>H2000R-0207Z0 エンジン回転数指示ラベル このラベルは、HMC1560/1720、HM1560K セット用です。</p>
----	---	---

取り付け前の調整	Page 4-2
作業機の連結方法	Page 4-2
スイッチの取り付け方法	Page 4-9
リレーボックスの取り付け方法	Page 4-12
配線の取り付け方法	Page 4-14
配線図	Page 4-16
試運転	Page 4-19
使用前の点検	Page 4-19
ベルト	Page 4-19
タイン	Page 4-20
油圧作動油	Page 4-20
ドライブプーリー	Page 4-22
締め付けトルク	Page 4-23
標準締め付けトルク	Page 4-23
使用前の調整	Page 4-25
作業高さ調整	Page 4-25
各部の操作方法	Page 4-26
操作ラベルの説明	Page 4-26
タイン回転用スイッチ	Page 4-28
ローリング用スイッチ	Page 4-28
移動	Page 4-29
移動操作	Page 4-29
作業	Page 4-29
作業時の注意	Page 4-29
集草操作	Page 4-29
運搬	Page 4-30
運搬方法	Page 4-30

取り扱い説明

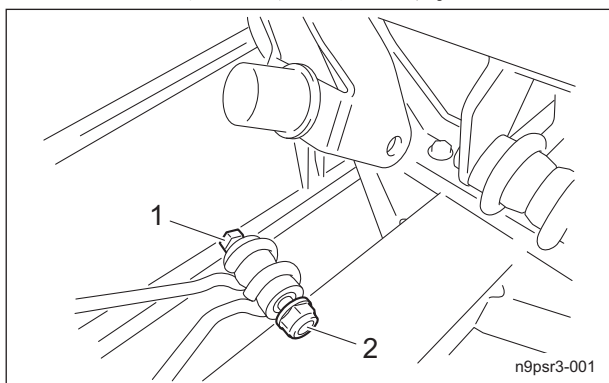
取り付け前の調整

作業機の連結方法

HMC1560/HMC1720/HM1560K セット

1. 本体と作業機を水平な所に置きます。
2. 本体にハンマーナイフモア部が取り付けられている場合は、取り外します。
(ハンマーナイフモア取扱説明書参照)
3. 作業機が梱包されている場合は、タインを以下の要領でセットします。

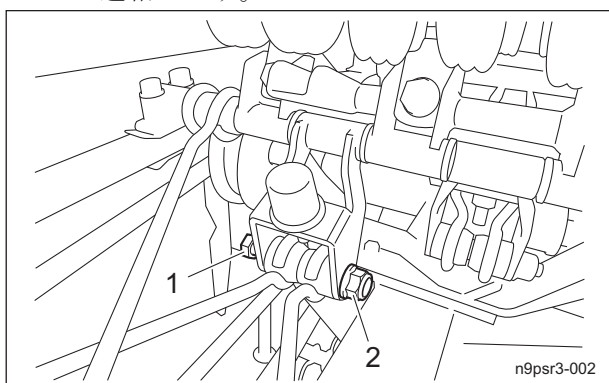
[1] スタビライザーロッドに仮止めしてあるボルト・ナットを取り外します。



HMC1560/HMC1720/HM1560K セット_001

1	ボルト
2	ナット

[2] スタビライザーロッドと、スタビライザーアームを仮止めしてあったボルト・ナットで連結します。

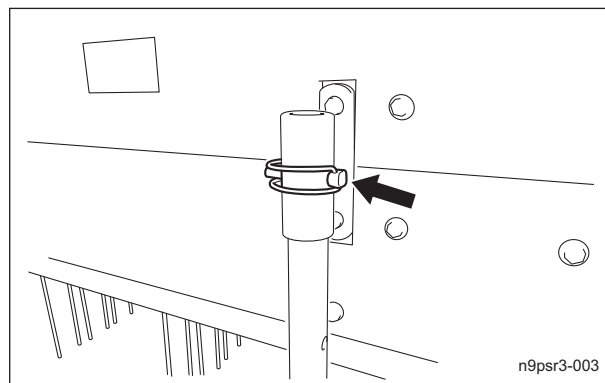


HMC1560/HMC1720/HM1560K セット_002

1	ボルト
2	ナット

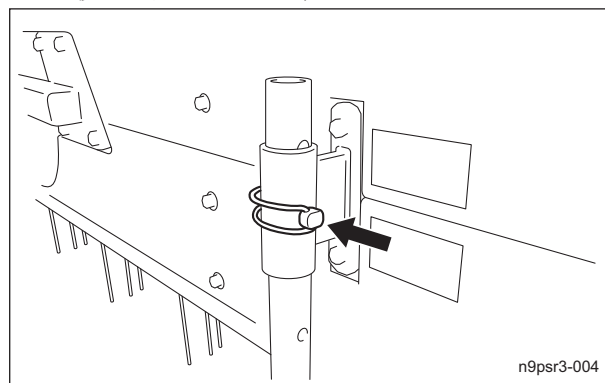
4. スタンドを以下の位置に固定します。

- ・ 前側：一番上の穴



HMC1560/HMC1720/HM1560K セット_003

- ・ 後ろ側：上から 2 番目の穴



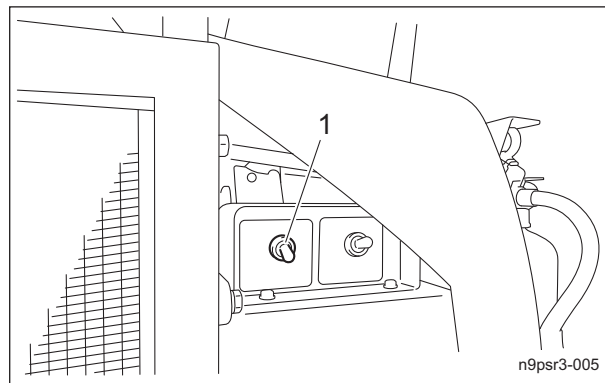
HMC1560/HMC1720/HM1560K セット_004



警告

本体の周りや作業機との間に人が入らないようにしてください。

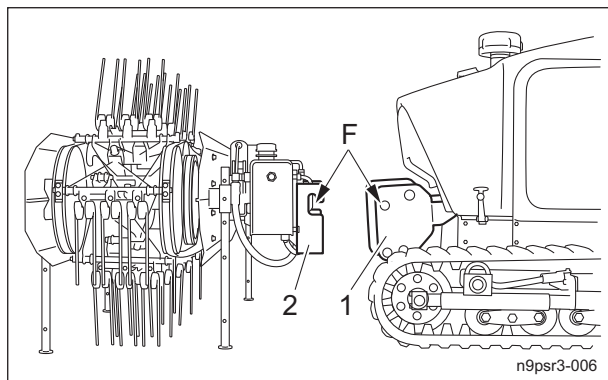
5. 本体部のシリンダー単複切り替えスイッチを「複動」にします。
シリンダー単複切り替えスイッチは、左サイドカバー内の電装ボックスの上にあります。



HMC1560/HMC1720/HM1560K セット_005

1	シリンダー単複切り替えスイッチ
---	-----------------

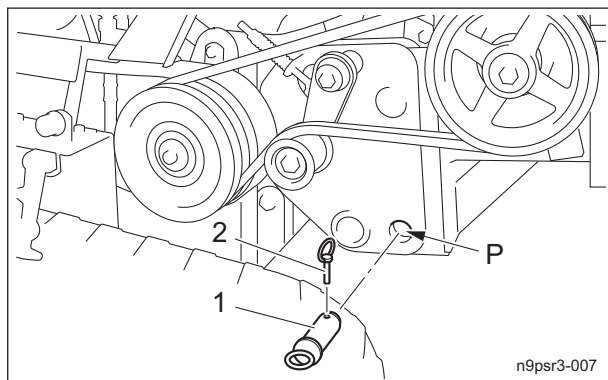
6. エンジンを始動し、本体部のヒッチF部を作業機のフックF部に引っ掛けるように位置を合わせながら前進し、作業機昇降スイッチを「上昇」側に操作します。



HMC1560/HMC1720/HM1560K セット_006

1	ヒッチ
2	フック

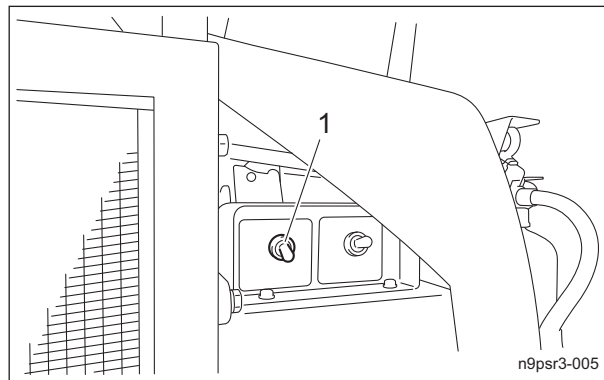
7. フックを作業機に引っ掛け、そのままの状態で作業機を持ち上げます。
 8. スタンドが地面から浮いた状態で、エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけます。
 9. P部にピンを入れ、クリップピンを取り付けます。



HMC1560/HMC1720/HM1560K セット_007

1	ピン
2	クリップピン

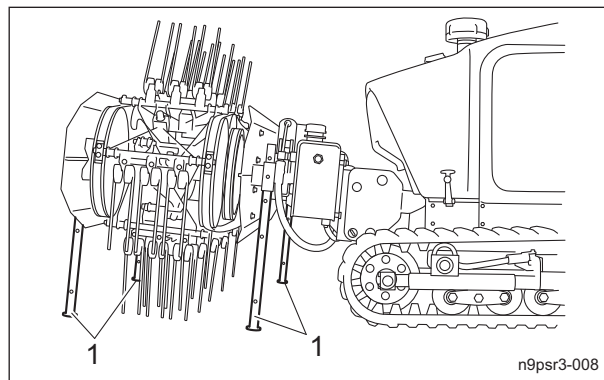
10. 本体部のシリンダー単複切り替えスイッチを「単動」にします。



HMC1560/HMC1720/HM1560K セット_008

1	シリンダー単複切り替えスイッチ
---	-----------------

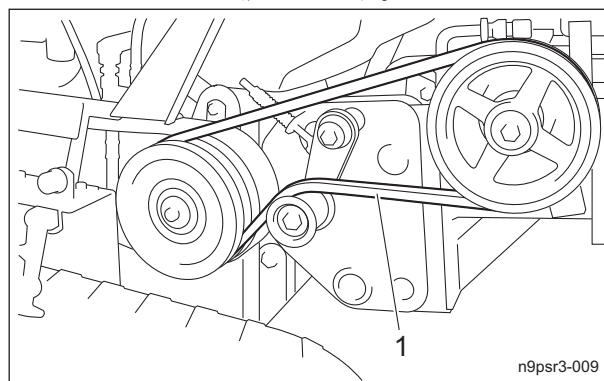
11. エンジンを始動し、スタンドを地面に接するまで下降させます。



HMC1560/HMC1720/HM1560K セット_009

1	スタンド
---	------

12. エンジンを停止し、ベルトを取り付け、テンションの張りを調整します。

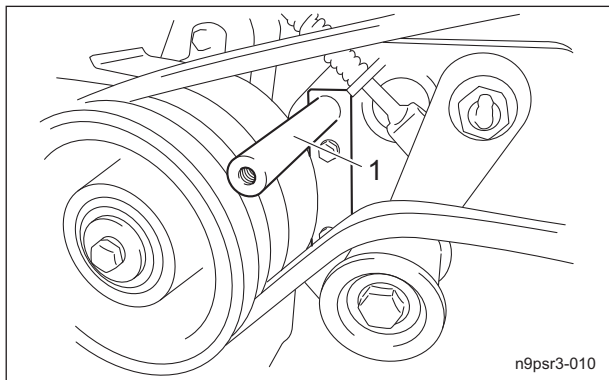


HMC1560/HMC1720/HM1560K セット_010

1	ベルト
---	-----

取り扱い説明

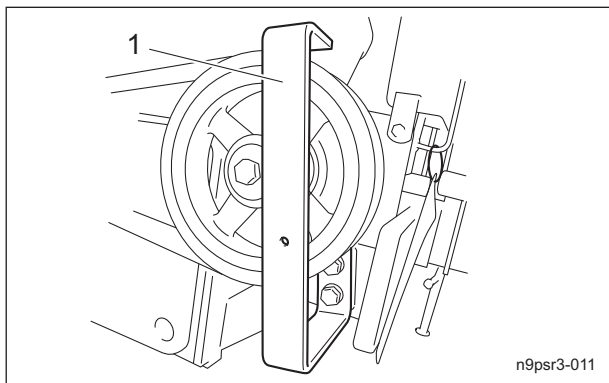
13. 本体のベルトカバー取り付け金を取り付けます。



HMC1560/HMC1720/HM1560K セット_011

1	ベルトカバー取り付け金
---	-------------

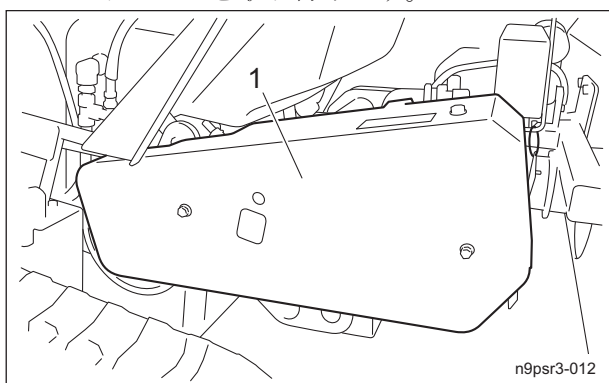
14. 作業機のベルトカバー取り付け金を取り付けます。



HMC1560/HMC1720/HM1560K セット_012

1	ベルトカバー取り付け金
---	-------------

15. ベルトカバーを取り付けます。

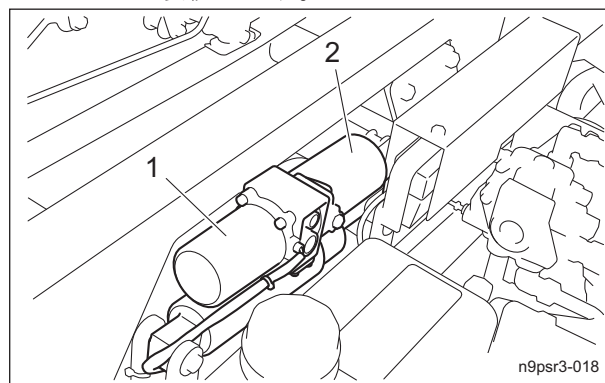


HMC1560/HMC1720/HM1560K セット_013

1	ベルトカバー
---	--------

16. 電動シリンダーに配線を接続して、連結完了です。

- ・ ローリング配線に延長配線を取り付け、ローリング用電動シリンダーに接続します。
- ・ 集草方向配線は、集草方向用電動シリンダーに接続します。

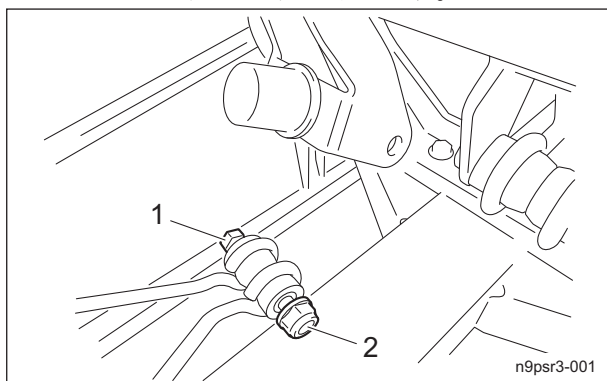


HMC1560/HMC1720/HM1560K セット_014

1	ローリング用電動シリンダー
2	集草方向用電動シリンダー

HM5500 セット

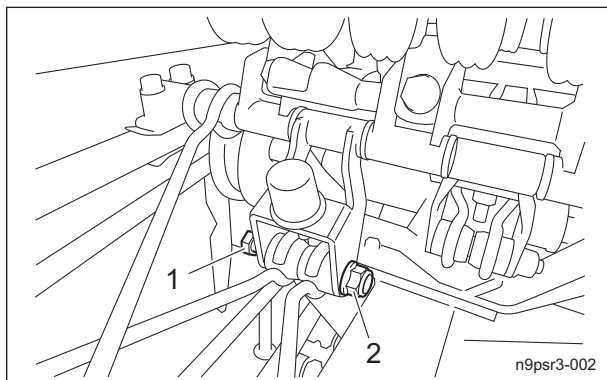
1. 本体と作業機を水平な所に置きます。
 2. 本体にハンマーナイフモア部が取り付けられている場合は、取り外します。
(ハンマーナイフモア取扱説明書参照)
 3. 作業機が梱包されている場合は、タインを以下の要領でセットします。
- [1] スタビライザーロッドに仮止めしてあるボルト・ナットを取り外します。



HM5500 セット_001

1	ボルト
2	ナット

- [2] スタビライザーロッドと、スタビライザーアームを仮止めしてあったボルト・ナットで連結します。

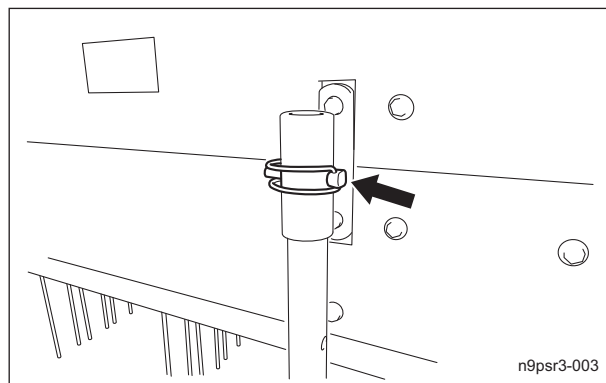


HM5500 セット_002

1	ボルト
2	ナット

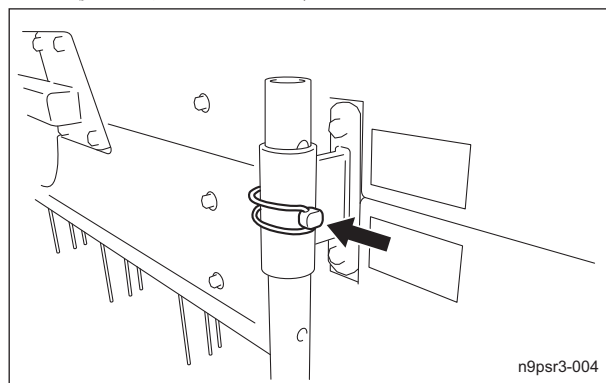
4. スタンドを以下の位置に固定します。

- ・ 前側：一番上の穴



HM5500 セット_003

- ・ 後ろ側：上から2番目の穴

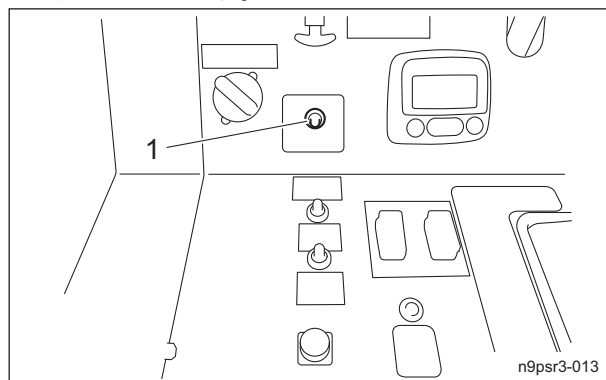


HM5500 セット_004

**警告**

本体の周りや作業機との間に人が入らないようにしてください。

5. 本体部のシリンダー単複切り替えスイッチを「複動」にします。
シリンダー単複切り替えスイッチは、操作パネルにあります。

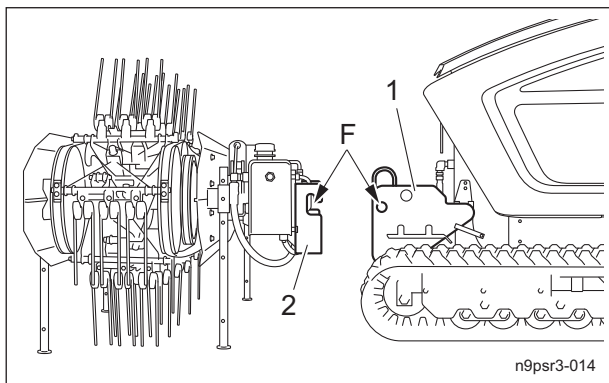


HM5500 セット_005

1	シリンダー単複切り替えスイッチ
---	-----------------

取り扱い説明

6. エンジンを始動し、本体部のヒッチF部を作業機のF部にフックを引っ掛けるように位置を合わせながら前進し、作業機昇降スイッチを「上昇」側に操作します。

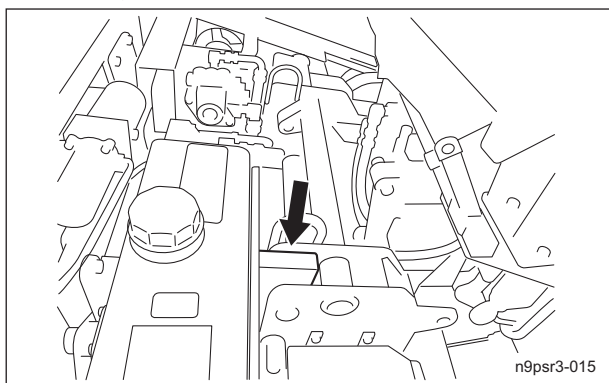


HM5500 セット_006

1	ヒッチ
2	フック

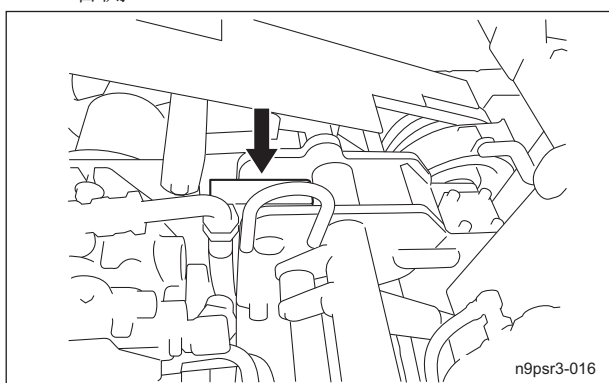
7. フックを作業機に引っ掛け、そのままの状態で作業機を持ち上げます。

・ 左側



HM5500 セット_007

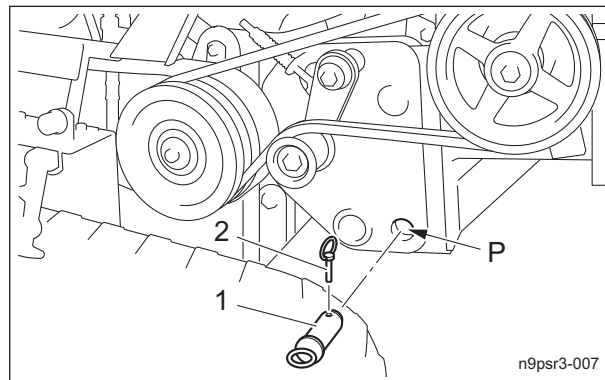
・ 右側



HM5500 セット_008

8. スタンドが地面から浮いた状態で、エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけます。

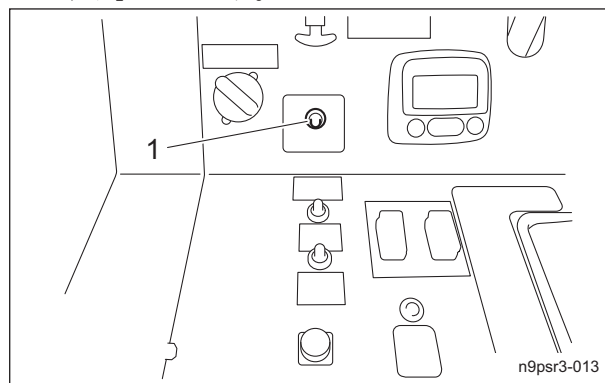
9. P部にピンを入れ、クリップピンを取り付けます。



HM5500 セット_009

1	ピン
2	クリップピン

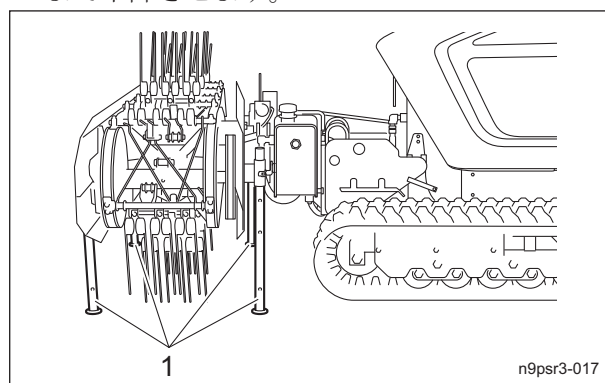
10. 本体部のシリンダー単複切り替えスイッチを「単動」にします。



HM5500 セット_010

1	シリンダー単複切り替えスイッチ
---	-----------------

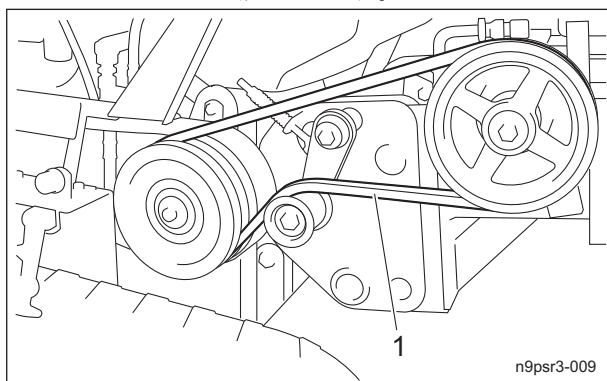
11. エンジンを始動し、スタンドを地面に接するまで下降させます。



HM5500 セット_011

1	スタンド
---	------

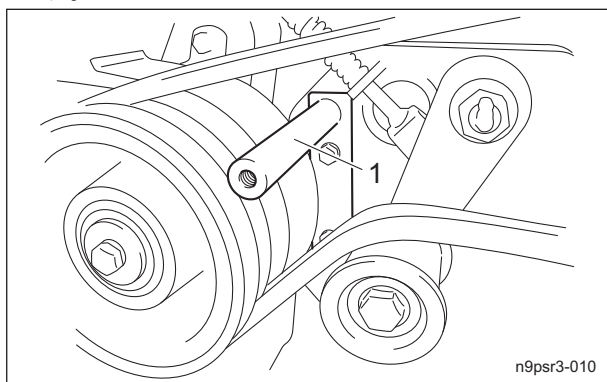
12. エンジンを停止し、ベルトを取り付け、テンションの張りを調整します。



HM5500 セット_012

1	ベルト
---	-----

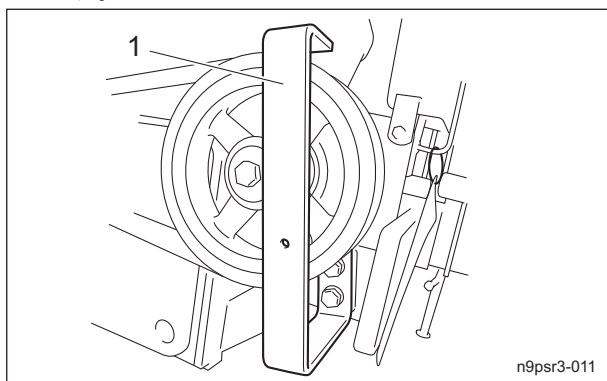
13. 本体のベルトカバー取り付け金を取り付けます。



HM5500 セット_013

1	ベルトカバー取り付け金
---	-------------

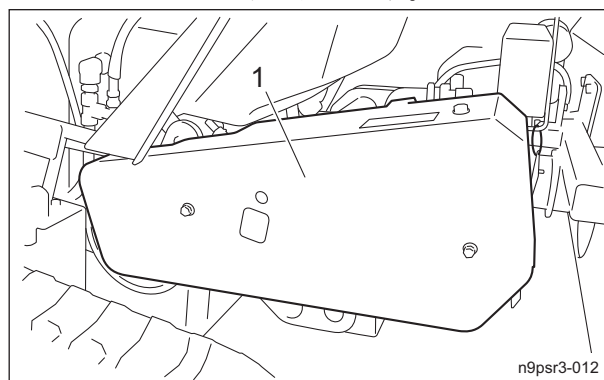
14. 作業機のベルトカバー取り付け金を取り付けます。



HM5500 セット_014

1	ベルトカバー取り付け金
---	-------------

15. ベルトカバーを取り付けます。



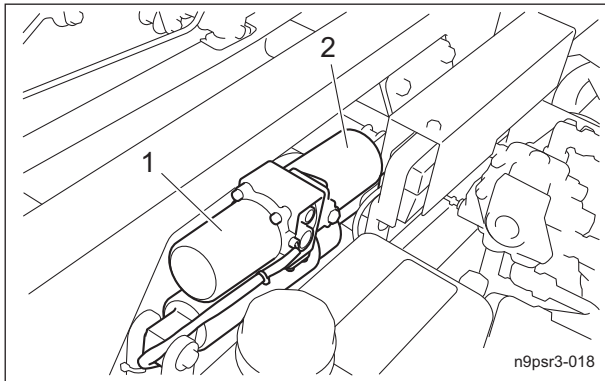
HM5500 セット_015

1	ベルトカバー
---	--------

取り扱い説明

16. 電動シリンダーに配線を接続して、連結完了です。

- ・ ローリング配線に延長配線を取り付け、ローリング用電動シリンダーに接続します。
- ・ 集草方向配線は、集草方向用電動シリンダーに接続します。

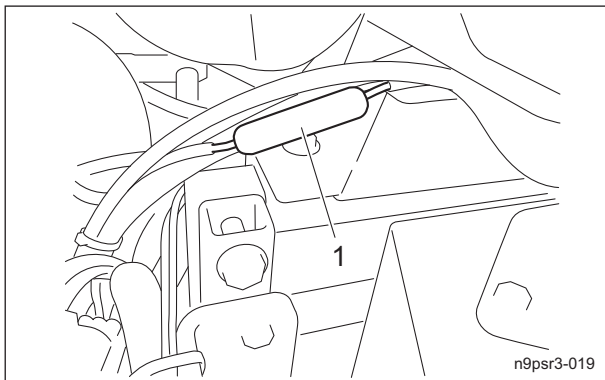


HM5500 セット_016

1	ローリング用電動シリンダー
2	集草方向用電動シリンダー

参考：

作業機接続用コネクタ付近に管ヒューズ (3A) が取り付けられている配線は、集草方向配線です。



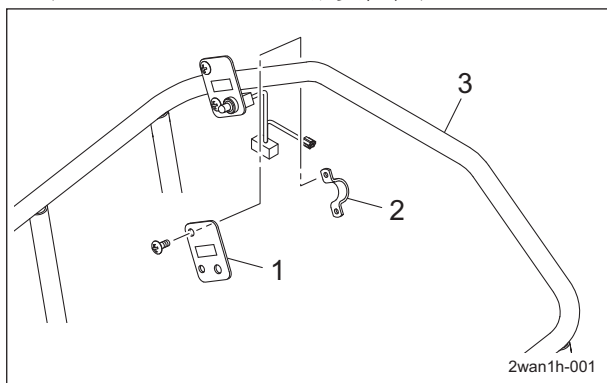
HM5500 セット_017

1	管ヒューズ
---	-------

スイッチの取り付け方法

HMC1560/HMC1720/HM1560K セット

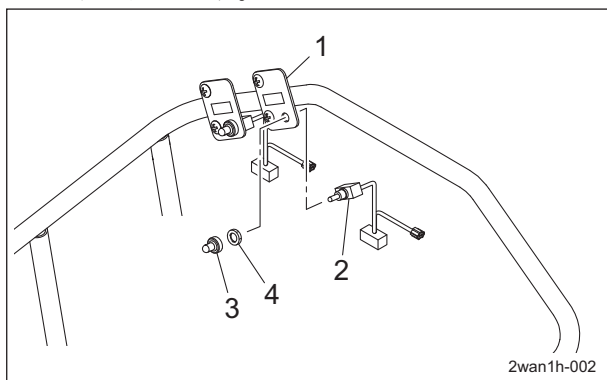
1. スイッチ取り付け板とスイッチ取り付け金をハンドルの任意の位置にねじで取り付けます。(イラストはメーカー推奨位置)



HMC1560/HMC1720/HM1560K セット_001

1	スイッチ取り付け板
2	スイッチ取り付け金
3	ハンドル

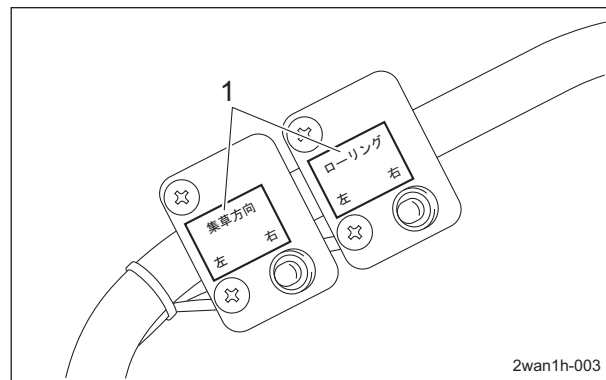
2. スイッチ取り付け板にスイッチをナットで仮に取り付けます。



HMC1560/HMC1720/HM1560K セット_002

1	スイッチ取り付け板
2	スイッチ
3	防水キャップ
4	ナット

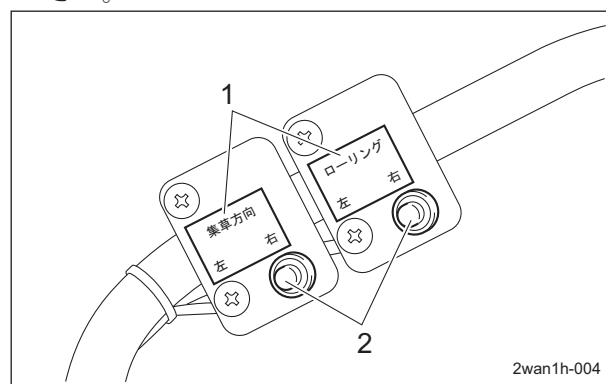
3. 操作ラベルを貼り付けます。



HMC1560/HMC1720/HM1560K セット_003

1	操作ラベル
---	-------

4. リレーボックスを取り付けます。(「HMC1560/HMC1720/HM1560K セット」(Page 4-12) 参照)
5. 配線を取り付けます。(「HMC1560/HMC1720/HM1560K セット」(Page 4-14) 参照)
6. 試運転を行い、操作ラベルと動作が一致していることを確認し、スイッチを確実に取り付けます。
操作ラベルと動作が一致していない場合は、一致するように取り付け位置を調整してください。



HMC1560/HMC1720/HM1560K セット_004

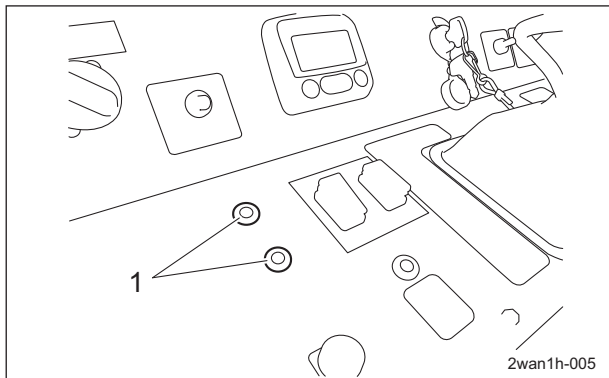
1	操作ラベル
2	スイッチ

7. 防水キャップを取り付けます。

取り扱い説明

HM5500 セット

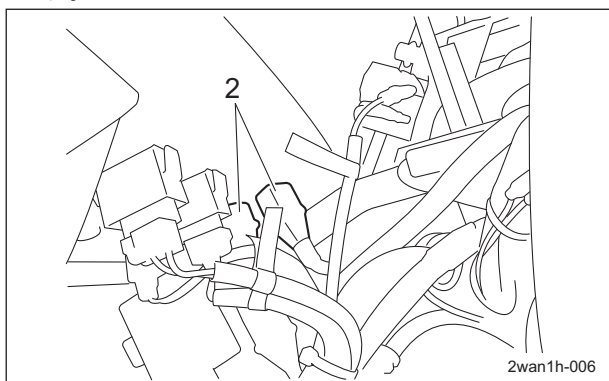
1. センターカバーを開けます。
2. 操作パネルのグロメットを取り外します。



HM5500 セット_001

- | | |
|---|-------|
| 1 | グロメット |
|---|-------|

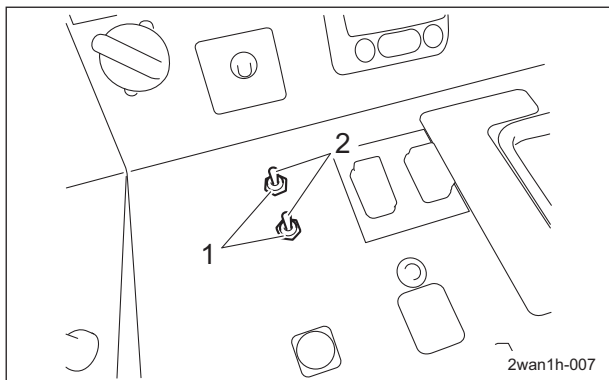
3. リレーボックスを取り付けます。(「HM5500 セット」(Page 4-12) 参照)
4. 操作パネルの下側からスイッチを差し込みます。



HM5500 セット_002

- | | |
|---|------|
| 1 | スイッチ |
|---|------|

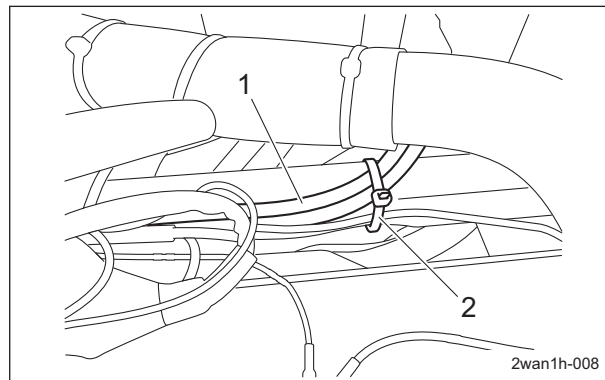
5. 操作パネルにスイッチをナットで仮に取り付けます。



HM5500 セット_003

- | | |
|---|------|
| 1 | スイッチ |
| 2 | ナット |

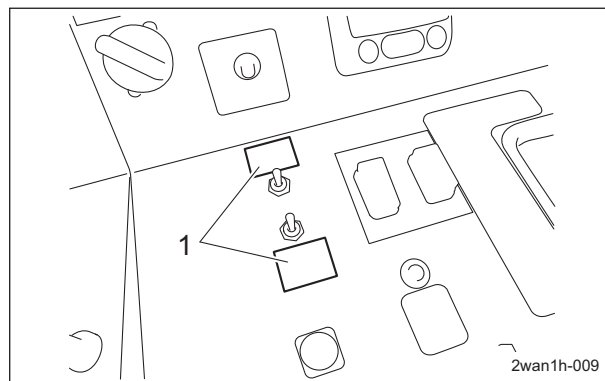
6. リレーボックスとスイッチをつなぐ配線をフレームに沿わせ、結束バンドで結束します。



HM5500 セット_004

- | | |
|---|-------|
| 1 | 配線 |
| 2 | 結束バンド |

7. 操作ラベルを貼り付けます。

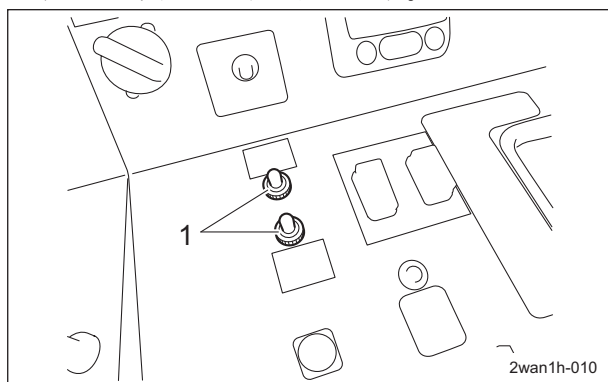


HM5500 セット_005

- | | |
|---|-------|
| 1 | 操作ラベル |
|---|-------|

8. 配線を取り付けます。(「HM5500 セット」(Page 4-14) 参照)
9. 試運転を行い、操作ラベルと動作が一致していることを確認し、スイッチを確実に取り付けます。
操作ラベルと動作が一致していない場合は、一致するように取り付け位置を調整してください。

10. 防水キャップを取り付けます。



HM5500 セット_006

1	防水キャップ
---	--------

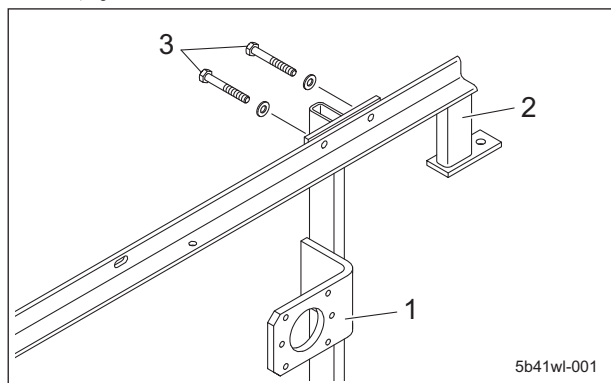
11. センターカバーを閉めます。

取り扱い説明

リレーボックスの取り付け方法

HMC1560/HMC1720/HM1560K セット

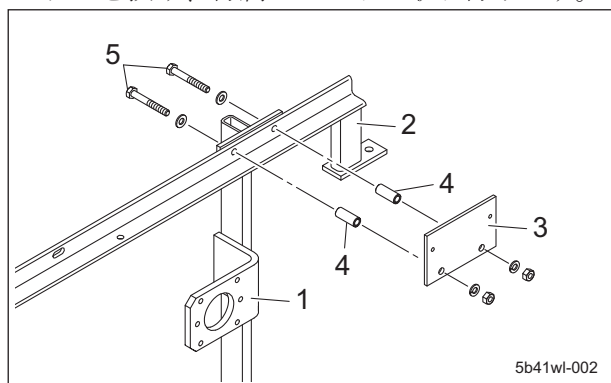
1. 油圧モーター取り付け金とラジエーター補助ステー左を取り付けているボルトを取り外します。



HMC1560/HMC1720/HM1560K セット_001

1	油圧モーター取り付け金
2	ラジエーター補助ステー左
3	ボルト

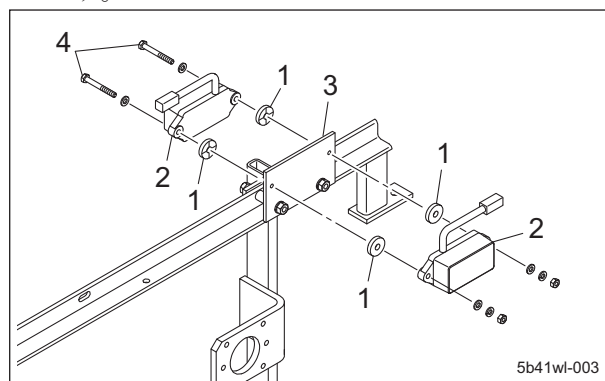
2. リレーボックス取り付け板を油圧モーター取り付け金、ラジエーター補助ステー左にカラーを挟み、付属のボルトで取り付けます。



HMC1560/HMC1720/HM1560K セット_002

1	油圧モーター取り付け金
2	ラジエーター補助ステー左
3	リレーボックス取り付け板
4	カラー
5	ボルト (付属品)

3. リレーボックス取り付け板の両側に防振ゴムを挟み、リレーボックスをボルトで取り付けます。

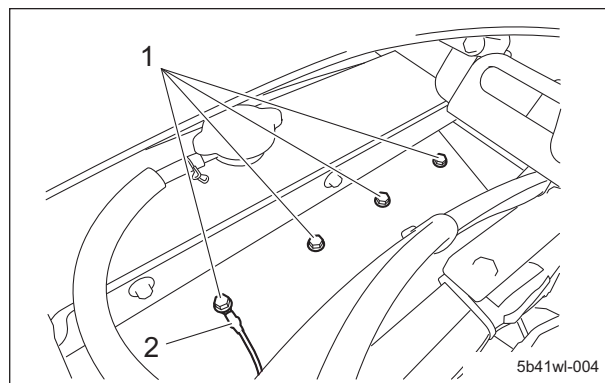


HMC1560/HMC1720/HM1560K セット_003

1	防振ゴム
2	リレーボックス
3	リレーボックス取り付け板
4	ボルト

HM5500 セット

1. センターカバーを開けます。
2. シュラウドに取り付けてあるボルトを取り外します。同時にアース線も取り外します。

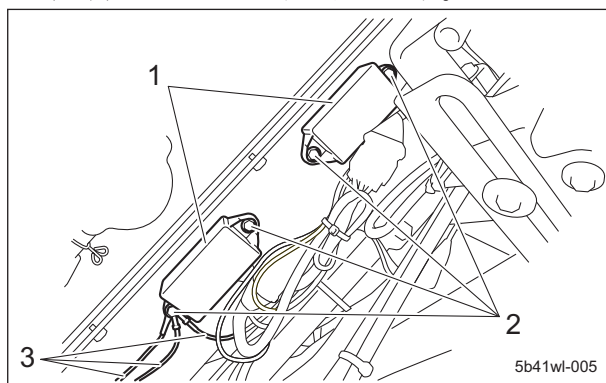


HM5500 セット_001

1	ボルト
2	アース線

取り扱い説明

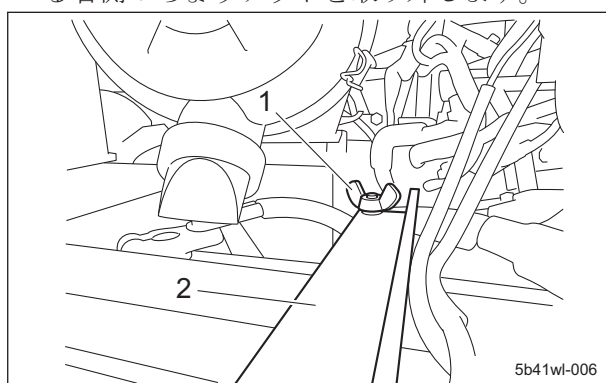
- リレーボックスを取り外したボルトでシュラウドに取り付けます。
同時にアース線の取り付け位置に取り外したアース線とリレーボックスのアース線(2本)をまとめて取り付けます。



HM5500 セット_002

1	リレーボックス
2	ボルト
3	アース線

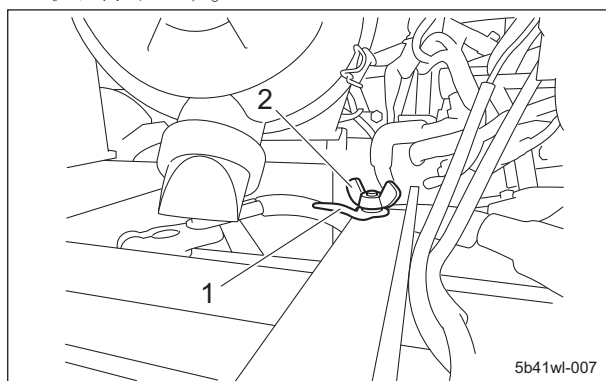
- サイドカバー左を開けます。
- バッテリーとバッテリー固定金を固定している右側のちょうナットを取り外します。



HM5500 セット_003

1	ちょうナット
2	バッテリー固定金

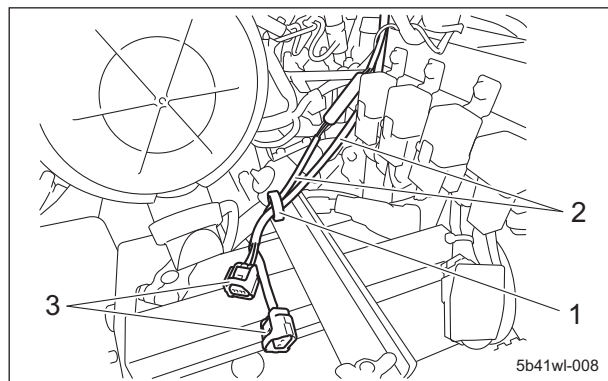
- 付属のクランプを取り外したちょうナットで取り付けます。



HM5500 セット_004

1	クランプ
2	ちょうナット

- 配線のコネクター付近をクランプを折り曲げて挟み、固定します。



HM5500 セット_005

1	クランプ
2	配線
3	コネクター

- サイドカバー左を閉めます。
- センターカバーを閉めます。

取り扱い説明

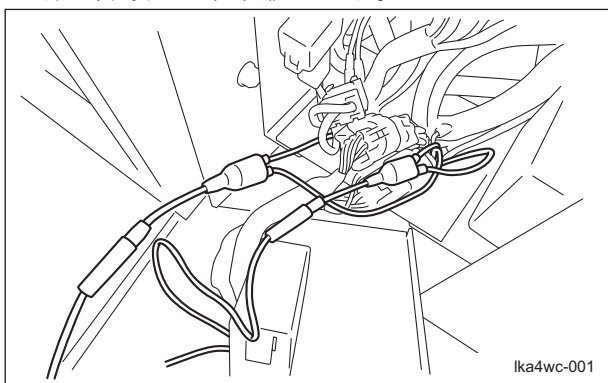
配線の取り付け方法

HMC1560/HMC1720/HM1560K セット

▲ 注意

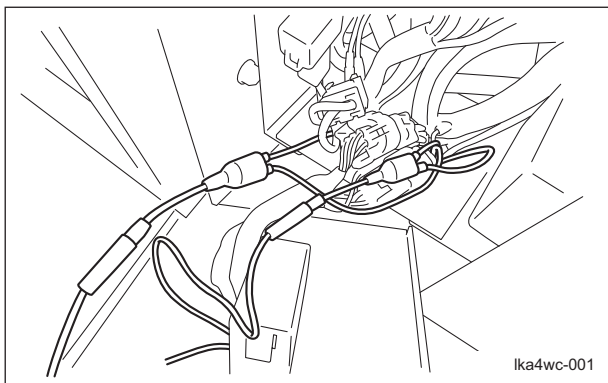
配線の取り付けは、バッテリーのマイナス端子を取り外してから行ってください。

1. ローリング配線
ステップ制御用電源（20A：赤黄）を二股用配線で分岐させ、接続します。



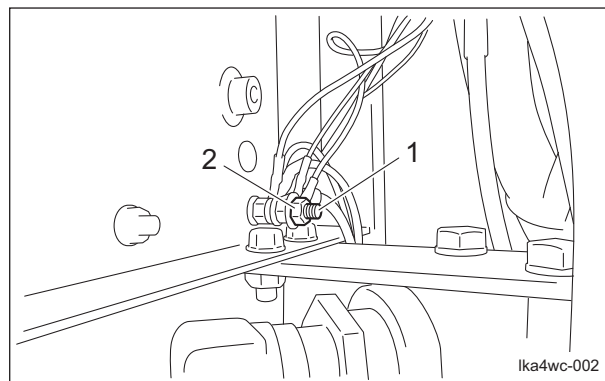
HMC1560/HMC1720/HM1560K セット_001

2. 集草方向配線
ファン制御用電源（20A：赤）を二股用配線で分岐させ、接続します。



HMC1560/HMC1720/HM1560K セット_002

3. アース線
電装ボックスの後ろ側のボルトに接続し、ナットで固定します。



HMC1560/HMC1720/HM1560K セット_003

1	ボルト
2	ナット

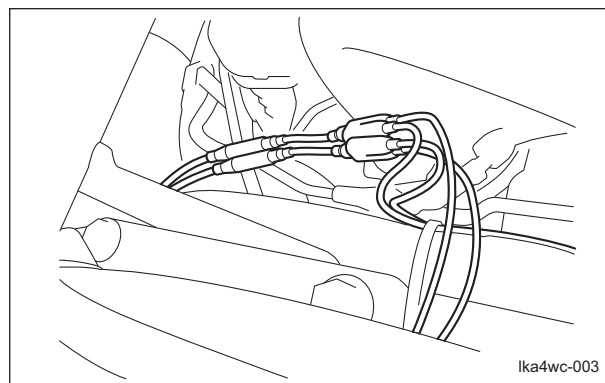
4. 配線が可動部や角部に干渉しないように結束します。

HM5500 セット

▲ 注意

配線の取り付けは、バッテリーのマイナス端子を取り外してから行ってください。

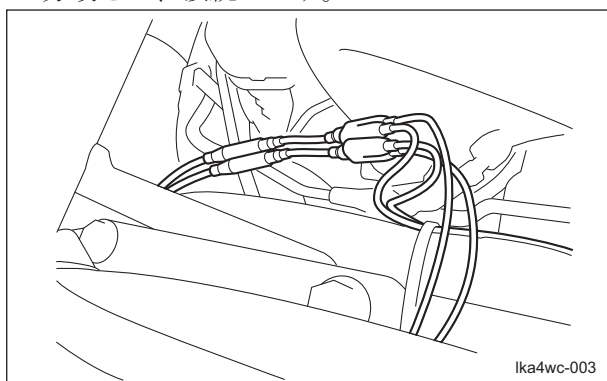
1. ローリング配線
ステップ制御用電源（20A：赤黄）を二股用配線で分岐させ、接続します。



HM5500 セット_001

2. 集草方向配線

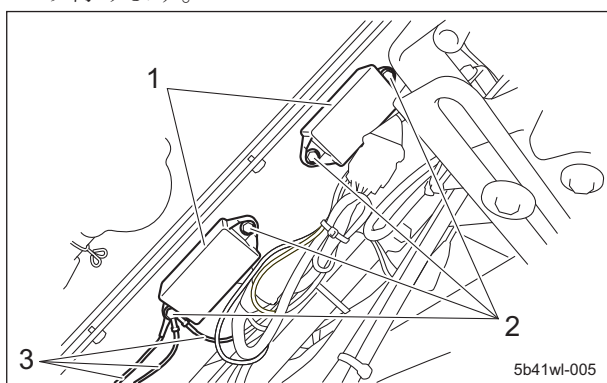
ファン制御用電源（20A：赤）を二股用配線で分岐させ、接続します。



HM5500 セット_002

3. アース線

リレーボックス取り付け時にアース線とリレーボックスのアース線（2本）をまとめて取り付けます。



HM5500 セット_003

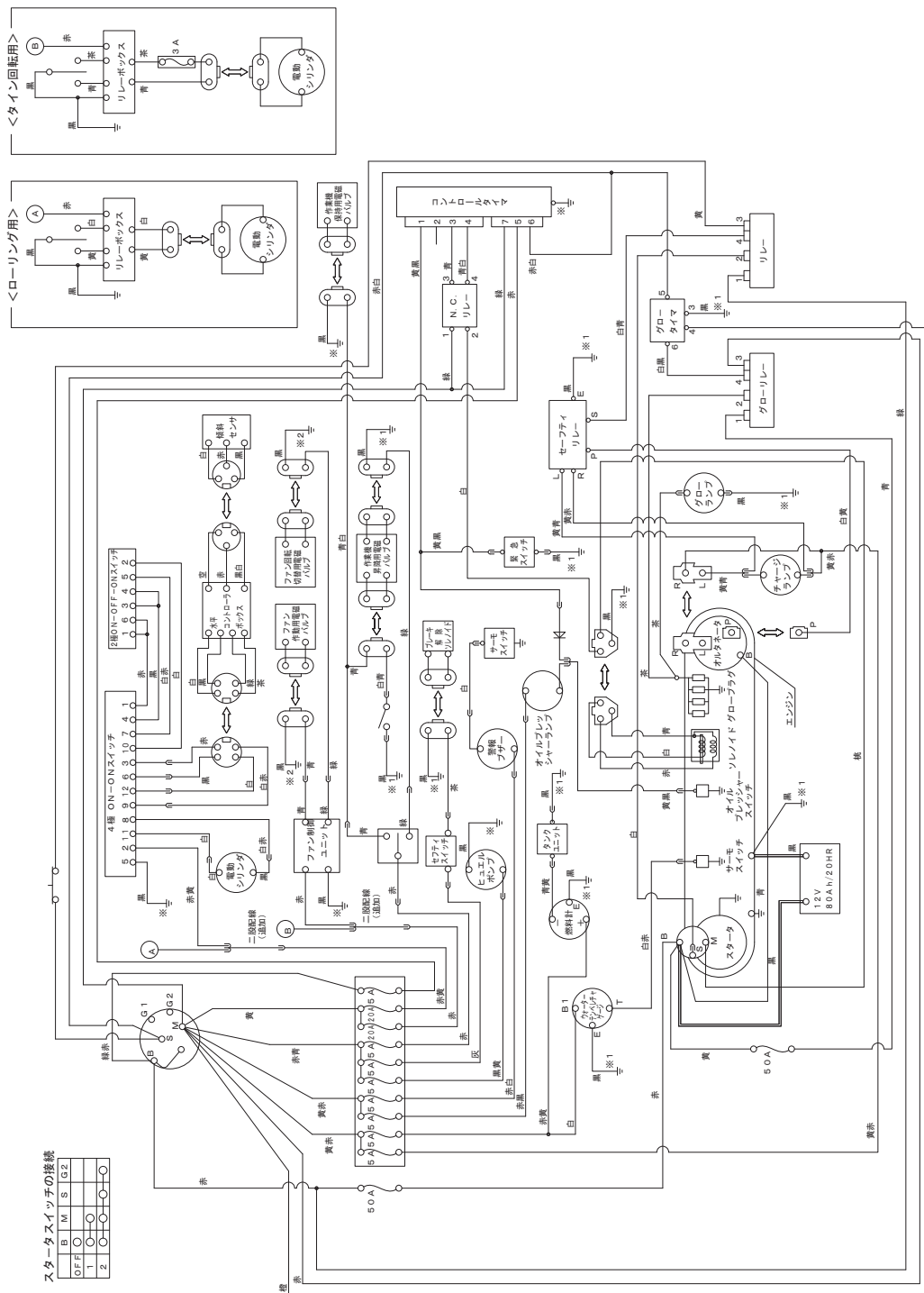
1	リレーボックス
2	ボルト
3	アース線

4. 配線が可動部や角部に干渉しないように結束します。

H2000R 取り扱い説明

配線図

HMC1560/HMC1720 セット



スタータスイッチの接続

B	M	S	G2
OFF	ON	ON	ON
1	○	○	○
2	○	○	○

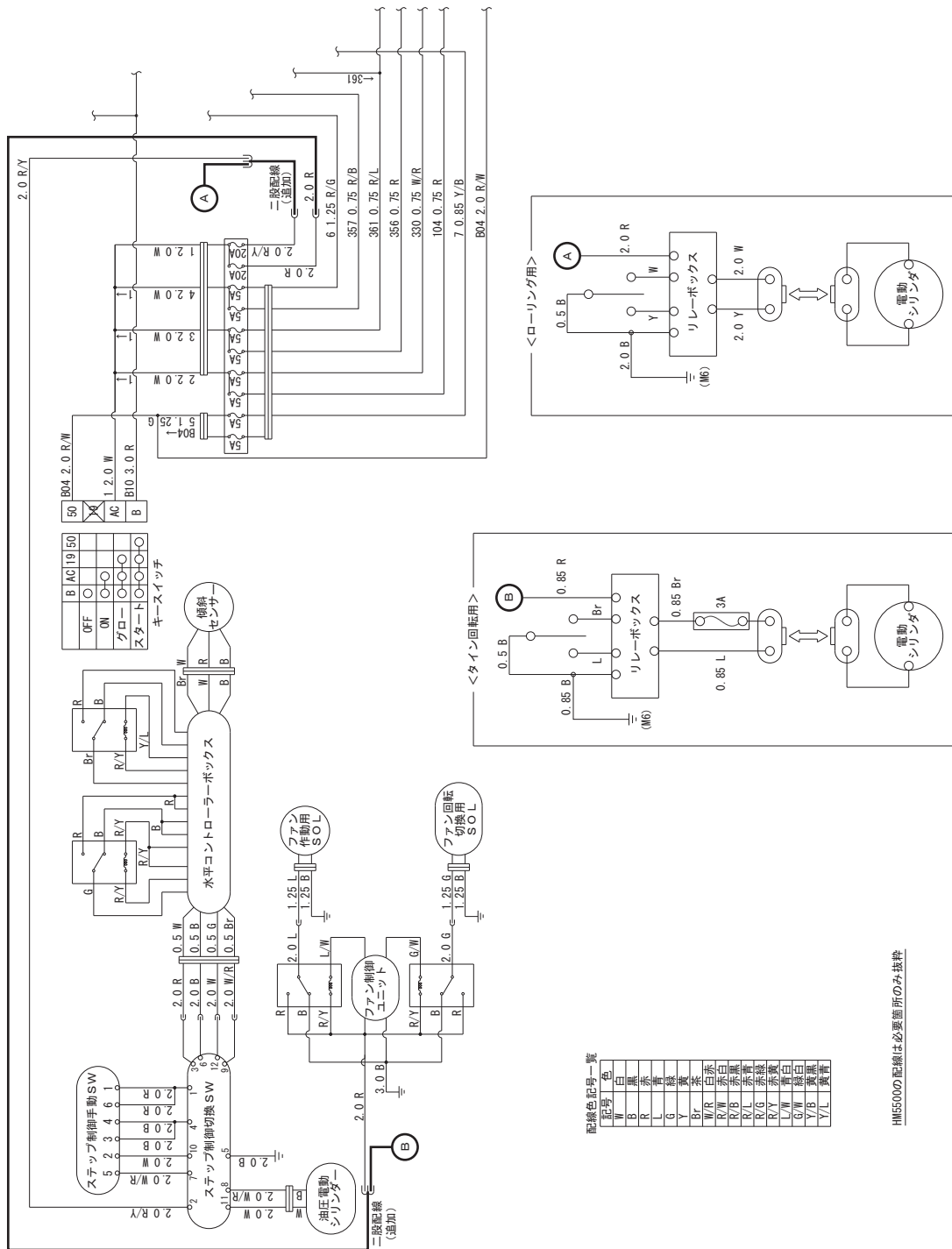
一注意
 ※印付アース箇所はアース配線が省略され、電線ボックス裏で集中結線されている。
 ※印の番号が同じものは、図面内部で1本につながっている。

HMC1560/HMC1720 セット_001

18yx5r-001

取り扱い説明

HM5500 セット



配線色記号一覧

記号	色
W	白
B	黒
R	赤
G	緑
Y	黄
Br	茶
W/R	白赤
R/W	赤白
R/B	赤黒
R/L	赤青
R/G	赤緑
R/Y	赤黄
L/W	青白
G/W	緑白
B/B	黒黒
Y/L	黄青

HM5500の配線は必要箇所のみ抜粋

試運転

⚠ 注意

試運転は、周囲に人や障害物が無いことを確認し、平坦で安定した場所で行ってください。

1. エンジンを始動します。
2. ローリング
作業高を上げ、ローリング用スイッチを操作し、作業機がローリングすることを確認します。
3. タインの回転
ナイフクラッチを「入」位置にしてタイン回転用スイッチを操作し、タインが回転することを確認します。

使用前の点検

機械の性能を引き出し、長くご使用いただくために、必ず使用前の点検をしてください。

ベルト

ベルトの点検

⚠ 注意

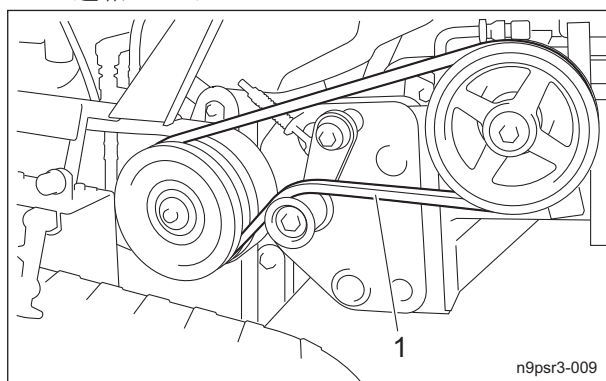
ベルトの点検は、必ずエンジンを停止させた状態で行ってください。

⚠ 注意

点検時にカバー等を取り外した場合は、必ず元の位置に確実に取り付けてください。
カバー等が取外されていると、回転物やベルトに触れて、ケガをする恐れがあります。

1. ベルトの中央を指で押さえて張り具合を確認してください。
2. 亀裂、損傷、異常摩耗が無いか確認してください。

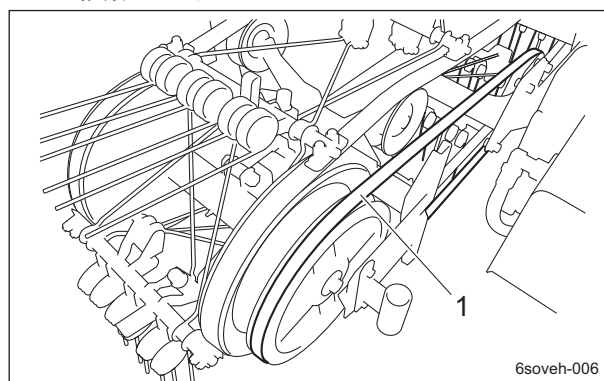
・ 連結ベルト



ベルトの点検_001

1 連結ベルト

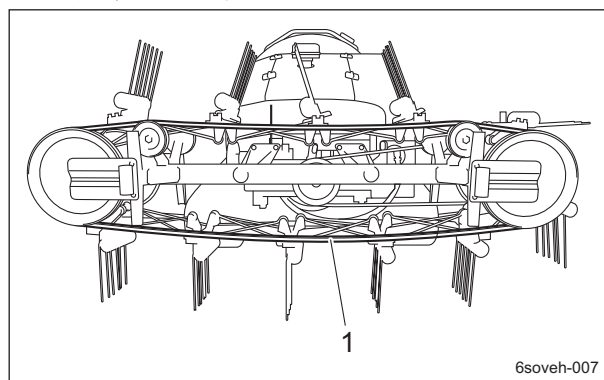
・ 駆動ベルト



ベルトの点検_002

1 駆動ベルト

・ タインベルト



ベルトの点検_003

1 タインベルト

取り扱い説明

タイヤ

タイヤの点検

▲ 注意

タイヤの点検は、必ずエンジンを停止させた状態で行ってください。

重要

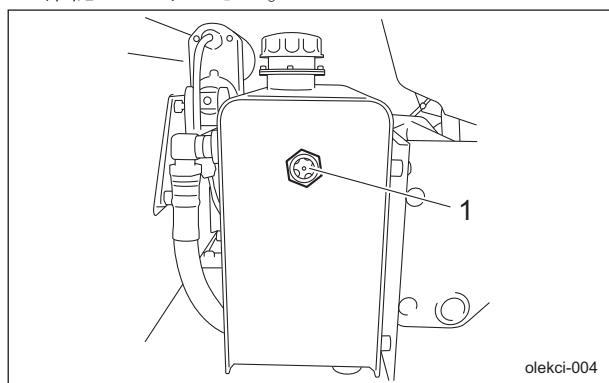
ベルトが変形するまでボルト、ナットを締込むと、プーリーやタイヤ軸受の損傷、磨耗を早める可能性があります。

1. タイヤに折損、異常磨耗が無いか確認してください。
2. タイヤが完全に固定され、ボルト、ナットが十分に締め付けられているか確認してください。
3. ベルトとタイヤ軸受とになじみによる遊び（ガタ）が無いか確認してください。

油圧作動油

油圧作動油の点検

1. 水平な場所で作業機を水平な状態にしてください。
2. 作動油が油量ゲージの中心まで入っているか確認してください。



油圧作動油の点検_001

1	油量ゲージ
---	-------

3. 機体の下を確認し、作動油漏れが無いことを確認してください。

油圧作動油の補給

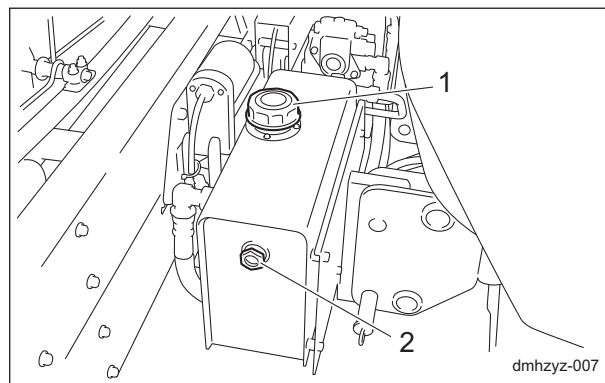
重要

異なった種類の作動油を混ぜないでください。

重要

作動油は、シェルテラス S2M46（相当品）を使用してください。

1. 作動油が少ない場合は、タンクキャップを開け、補給してください。



油圧作動油の補給_001

1	タンクキャップ
2	油量ゲージ

2. タンクキャップを確実に閉めてください。
3. エンジンを始動し、作業機を上げてください。
4. ナイフクラッチを「入」位置にしてタイヤ回転用スイッチを操作し、タイヤを数度回転させてください。
5. 水平な場所で作業機を水平にした状態にしてください。
6. 油面が油量ゲージの中心にあるか確認し、必要があれば補給してください。
7. 機体の下を確認し、作動油漏れが無いことを確認してください。

油圧作動油の交換

警告

作動油を交換する場合は、作動油を容器で受け、地域の法律に従って適切に処分してください。

注意

作動油が乳化、または透明度が少しでも悪くなった場合は、直ちに交換してください。

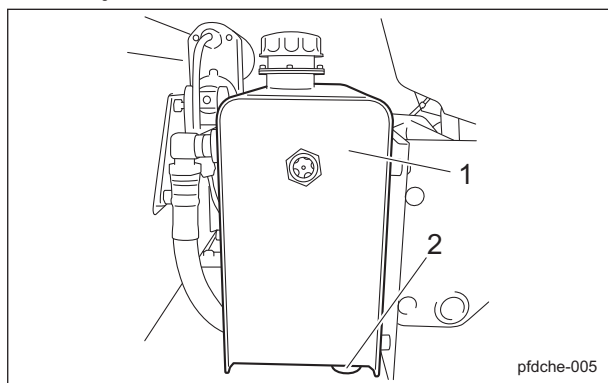
注意

熱いオイルが皮膚に付くと火傷をする恐れがありますので、十分注意してください。

重要

作動油は、シェルテラス S2M46（相当品）を使用してください。

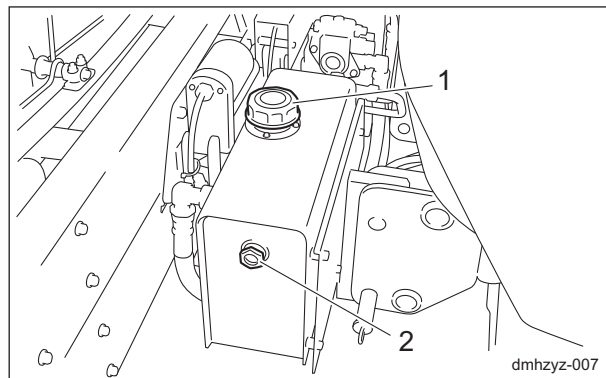
- 以下の要領で、古い作動油を抜き取ってください。
 - エンジンを始動し、ナイフクラッチを「入」の位置にして作動油を温めてください。
 - 水平な場所で、作業機を下げ、エンジンを停止してください。
 - 油圧タンクのドレンプラグを外し、古い作動油を容器に抜取ってください。
 - ドレンプラグに新しいシールテープを巻き直し、油圧タンクに再び取り付けてください。



油圧作動油の交換_001

1	油圧タンク
2	ドレンプラグ

- タンクキャップを開け、注入口から新しい作動油を油面が油圧タンク油量ゲージの中心になるまで入れてください。
油圧タンク容量は、約 10.0 dm³ (10.0 L) です。



油圧作動油の交換_002

1	タンクキャップ
2	油量ゲージ

- タンクキャップを確実に閉めてください。
- エンジンを始動し、作業機を上昇させます。
- ナイフクラッチを「入」位置にしてタイン回転用スイッチを操作し、タインを数度回転させてください。
- 水平な場所で作業機を水平にした状態にしてください。
- 油面が、油量ゲージの中心にあるか確認し、必要があれば補給してください。
- 機体の下を確認し、作動油漏れが無いことを確認してください。

取り扱い説明

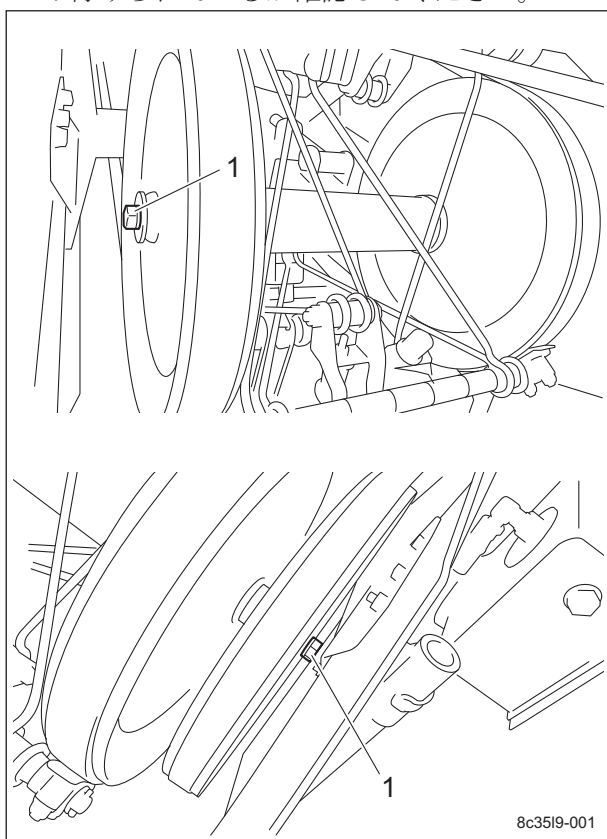
ドライブプーリー

ドライブプーリーボルトの点検

重要

ドライブプーリーボルトが緩んだ状態で作業を行うと、機械が損傷する可能性があります。

1. ドライブプーリーボルトは、タイヤ駆動側（左側）の前後と、従駆動側（右側）の前後に各2本、合計4本あります。
すべてのドライブプーリーボルトが十分に締め付けられているか確認してください。



ドライブプーリーボルトの点検_001

1	ドライブプーリーボルト
---	-------------

締め付けトルク

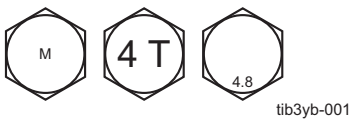
標準締め付けトルク

ボルト、ねじ類



重要

各部には、ボルト止めが多く使われております。
使用初期はボルト、ナット等の緩みが出る場合がありますので、必ず増し締めを行ってください。

特別指示の無いボルト、ナットは、適切な工具により適正な締め付けトルクで締め付けてください。
締め付けが強すぎると「ねじ」は緩んだり、破損したりします。
締め付け強さは、ねじの種類、強度、ねじ面や座面の摩擦等で決めております。
一覧表は、亜鉛メッキまたはパーカー処理したボルトを対象としております。
めねじの強度が弱い場合は適用できません。
錆びていたり、砂等が付着している「ねじ」は、使用しないでください。
所定の締め付けトルクを与えても締め付け不足になります。
ねじ面の摩擦が大きくなり、締め付けトルクのほとんどを摩擦損失し、締め付ける力になりません。
「ねじ」が水や油で濡れている場合は、通常締め付けトルクで締めないでください。
ねじが濡れるとトルク係数が小さくなり、締め過ぎになります。
締め過ぎると、ねじが伸びて緩んだり、破損することがあります。
一度、大きな負荷がかかったボルトは、使用しないでください。
インパクトレンチで締めるときは、熟練が必要です。
できるだけ安定した締め付け作業ができるように練習してください。

呼び径	一般ボルト		
	強度区分 4.8		
			
	N-m	kgf-cm	lb-in
M5	3 - 5	30.59 - 50.99	26.55 - 44.26
M6	7 - 9	71.38 - 91.77	61.96 - 79.66
M8	14 - 19	142.76 - 193.74	123.91 - 168.17
M10	29 - 38	295.71 - 387.49	256.68 - 336.34
M12	52 - 67	530.24 - 683.20	460.25 - 593.02
M14	70 - 94	713.79 - 958.52	619.57 - 831.99
M16	88 - 112	897.34 - 1142.06	778.89 - 991.31
M18	116 - 144	1,182.85 - 1,468.37	1,026.72 - 1,274.54
M20	147 - 183	1,498.96 - 1,866.05	1,301.10 - 1,619.73
M22	295	3,008.12	2,611.05
M24	370	3,772.89	3,274.87
M27	550	5,608.35	4,868.05
M30	740	7,545.78	6,549.74

取り扱い説明

呼び径	調質ボルト					
	強度区分 8.8			強度区分 10.9		
	 tib3yb-002			 tib3yb-003		
	N-m	kgf-cm	lb-in	N-m	kgf-cm	lb-in
M5	5 - 7	50.99 - 71.38	44.26 - 61.96	7 - 10	71.38 - 101.97	61.96 - 88.51
M6	8 - 11	81.58 - 112.17	70.81 - 97.36	14 - 18	142.76 - 183.55	123.91 - 159.32
M8	23 - 29	234.53 - 295.71	203.57 - 256.68	28 - 38	285.52 - 387.49	247.83 - 336.34
M10	45 - 57	458.87 - 581.23	398.30 - 504.51	58 - 76	591.43 - 774.97	513.36 - 672.68
M12	67 - 85	683.20 - 866.75	593.02 - 752.34	104 - 134	1,060.49 - 1,366.40	920.50 - 1186.03
M14	106 - 134	1,080.88 - 1,366.40	938.21 - 1,186.03	140 - 188	1,427.58 - 1,917.04	1,239.14 - 1,663.99
M16	152 - 188	1,549.94 - 1,917.04	1,345.35 - 1,663.99	210 - 260	2,141.37 - 2,651.22	1,858.71 - 2,301.26
M18	200 - 240	2,039.40 - 2,447.28	1,770.20 - 2,124.24	280 - 340	2,855.16 - 3,466.98	2,478.28 - 3,009.34
M20	245 - 295	2,498.27 - 3,008.12	2,168.50 - 2,611.05	370 - 450	3,772.89 - 4,588.65	3,274.87 - 3,982.95
M22	—	—	—	530	5,404.41	4,691.03
M24	—	—	—	670	6,831.99	5,930.17
M27	—	—	—	1,000	10,197.00	8,851.00
M30	—	—	—	1,340	14,628.78	11,860.34

参考：

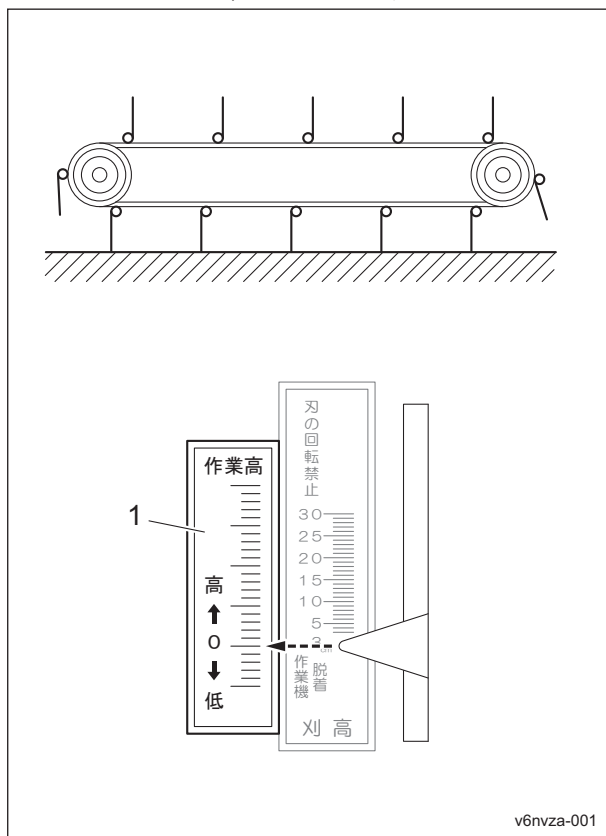
「細目ねじ」についても、同じ数値とする。

使用前の調整

作業高さ調整

1. 作業高マークは新品のタイヤを取り付け、タイヤが接地した状態で、刈高指針が「0（ゼロ）」になるように張付けてください。

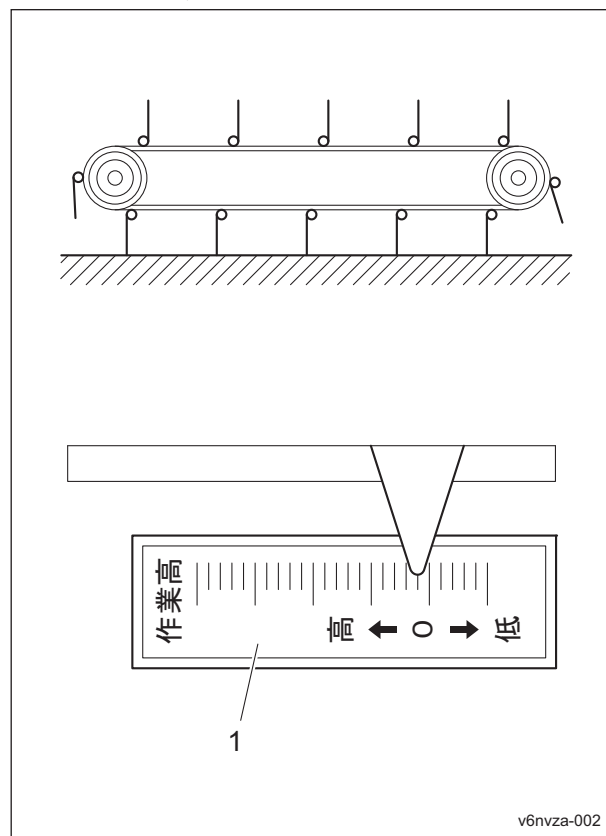
HMC1560/1720、HM1560K セット



作業高さ調整_001

1 作業高マーク

HM5500 セット



作業高さ調整_002

1 作業高マーク

2. 作業高マークの目盛を目安に作業高さを調整してください。

参考：

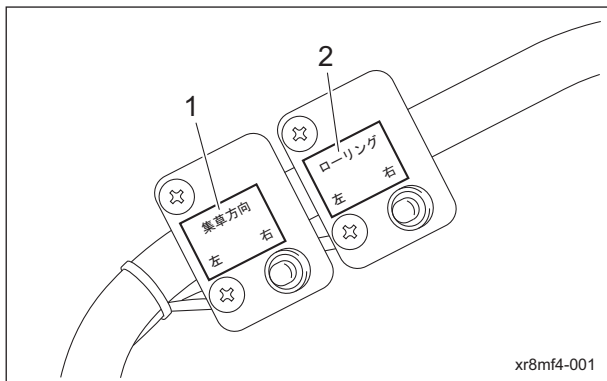
作業高マークの目盛は、具体的な数値を示すものではありません。

取り扱い説明

各部の操作方法

操作ラベルの説明

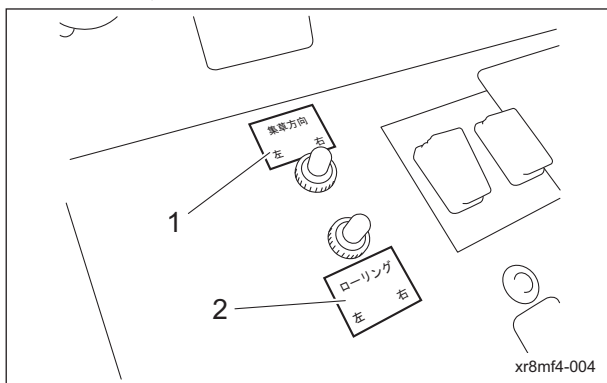
HMC1560/1720、HM1560K セット



操作ラベルの説明_001

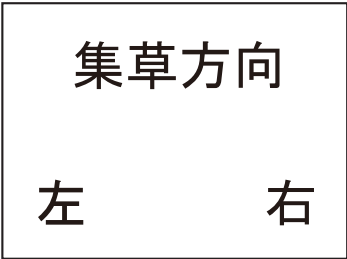
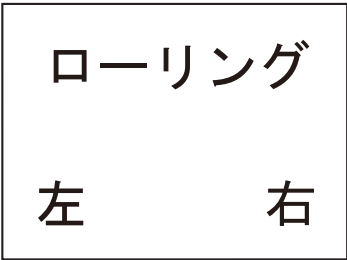
1	集草方向マーク
2	ローリングマーク

HM5500 セット



操作ラベルの説明_002

1	集草方向マーク
2	ローリングマーク

1	H2000R-0206Z0 集草方向マーク 集草方向を示しています。	 <p>左 右</p> <p>xr8mf4-002</p>
2	HM110H-0855Z0 ローリングマーク 作業機の角度方向を示しています。	 <p>左 右</p> <p>xr8mf4-003</p>

取り扱い説明

タイン回転用スイッチ

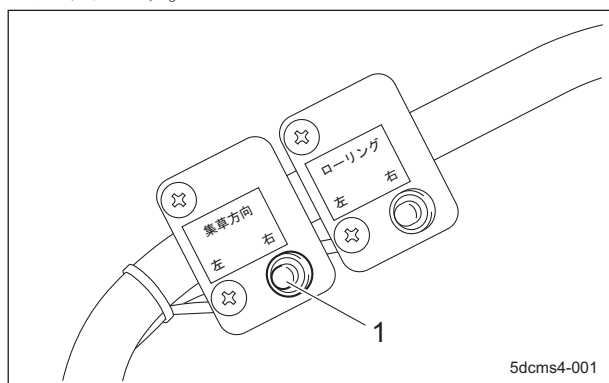
タイン回転用スイッチは、集草方向と回転速度を調整します。

左側に倒すとタインの回転が左集草方向になり、右側に倒すと右集草方向になります。

スイッチは自動復帰型のため、任意の位置でスイッチから指を放せば、その集草方向と回転速度が維持されます。

HMC1560/1720、HM1560K セット

タイン回転スイッチは、ハンドルの任意の位置にあります。

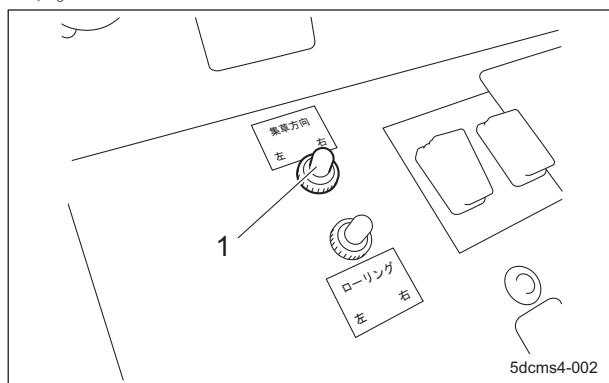


タイン回転用スイッチ_001

1	タイン回転用スイッチ
---	------------

HM5500 セット

タイン回転スイッチは、操作パネルにあります。



タイン回転用スイッチ_002

1	タイン回転用スイッチ
---	------------

ローリング用スイッチ

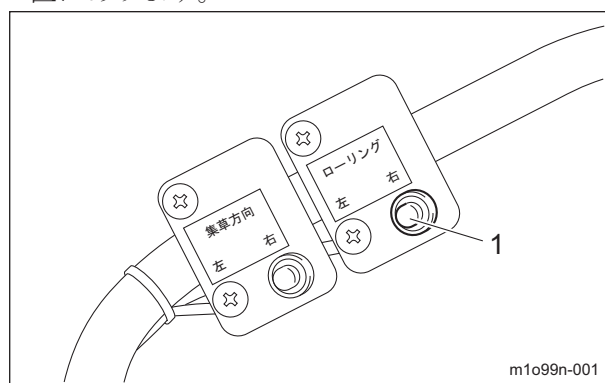
ローリング用スイッチは、作業機の角度を調整します。

左側に倒すと作業機が右上がりになり、右側に倒すと左上がりになります。

スイッチは自動復帰型のため、任意の位置でスイッチから指を放せば、その角度が維持されます。

HMC1560/1720、HM1560K セット

ローリング用スイッチは、ハンドルの任意の位置にあります。

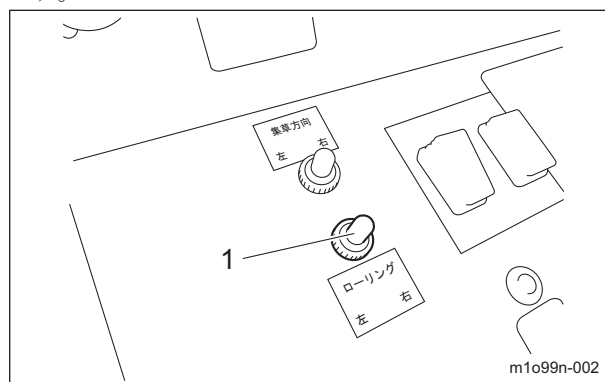


ローリング用スイッチ_001

1	ローリング用スイッチ
---	------------

HM5500 セット

ローリング用スイッチは、操作パネルにあります。



ローリング用スイッチ_002

1	ローリング用スイッチ
---	------------

移動

移動操作

参考：
本体部の操作については、本体部の取扱説明書を参照してください。

1. エンジンを始動し、エンジン回転を上げます。
2. 作業機昇降スイッチを「上昇」側に操作し、作業部を上げます。
3. 駐車ブレーキを解除します。
4. 走行レバーを操作し、移動できます。

作業

作業時の注意

作業機は、作業部が高速で回転します。
慎重に取り扱わないと大きな事故につながります。
以下の注意事項を必ず守り、安全に作業をしてください。

警告

作業機のまわりに人を近づけないでください。
作業中は石や枝がまわりに飛散します。

警告

回転部分へ絶対に手や足を入れしないでください。
回転部分に草が巻きついたときは、作業部の回転を止め、必ずエンジンを停止させ、巻きつきを外してください。

警告

速度を落とし、大きく回ってください。
傾斜地での急旋回は転倒の恐れがあります。

警告

子供には十分注意し、作業機へ近づけないでください。

注意

作業中や作業後は、草やゴミを路上に落とさないでください。

注意

旋回や後進で作業機を上げるときは、必ず作業部の回転を停止してください。

集草操作

警告

急発進・急停車は、絶対行わないでください。
危険な上、油圧機器を破損したり、油漏れの原因になることがあります。

注意

作業は、必ず場所にあった速さで行ってください。

注意

傾斜地での作業は、十分注意して行ってください。
特に、集草した刈草はスリップの原因となることがあります。

重要

集草作業時は、エンジン回転を 2,500 rpm 以下で使用してください。

重要

タインの回転を停止する場合は、ティン回転用スイッチを操作し、タインの回転を停止させてから、ナイフクラッチを「切」位置にしてください。

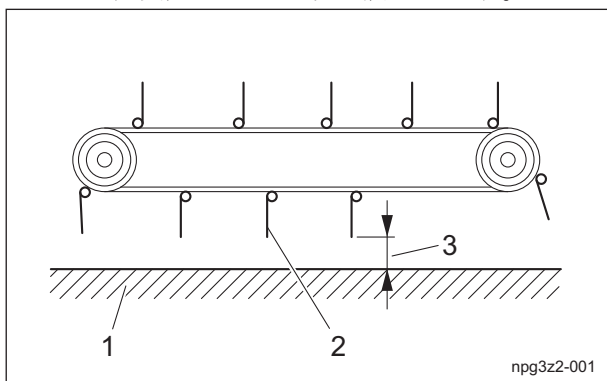
参考：

本体部の操作については、本体部の取扱説明書を参照してください。

1. エンジンを始動し、エンジン回転を上げます。
2. タインが地面についていないことを確認し、ナイフクラッチを「入」位置にします。
3. タイン回転用スイッチを操作し、タインの回転方向・回転速度を調整します。
タインの回転速度は、集草量・集草列状の大きさに合わせて調整してください。

取り扱い説明

4. 地面とタイヤのすき間が 20 - 30 mm (手のひらが入る程度) になるように調整します。



集草操作_001

1	地面
2	タイヤ
3	20 - 30 mm

5. 駐車ブレーキを解除します。
6. 走行レバーを操作し、作業を始めます。

運搬

運搬方法

本体部に作業機をセットして運搬する場合：
トラックやトレーラーに積載して運搬する場合は、進行方向に対して本機を後進で積み込み、降ろす場合は前進で行ってください。
また、作業機をローリングさせ、積載巾に収めてから運搬してください。

作業機のみを運搬する場合：
トラックやトレーラーに積載して運搬する場合は、本機にスタンドを取り付け、パレットに載せて積み込み、積み降ろしをしてください。
また、積載巾に収め、つり上げポイントで固定してから運搬してください。

メンテナンス上の注意	Page 5-2
メンテナンススケジュール	Page 5-2
規定値	Page 5-3
主な消耗部品	Page 5-3
つり上げ	Page 5-4
つり上げについて	Page 5-4
つり上げポイント	Page 5-4
グリースアップ	Page 5-6
グリースアップについて	Page 5-6
グリースアップ位置	Page 5-6
メンテナンス・作業部	Page 5-7
ベルトの張り調整	Page 5-7
タインの交換	Page 5-9
ヒューズの交換	Page 5-9
長期保管	Page 5-9
長期保管について	Page 5-9

メンテナンス

メンテナンス上の注意

⚠ 注意

実施するメンテナンスを熟知してから行ってください。

⚠ 注意

メンテナンスをする際に必要な工具は、目的にあったものを使用してください。

⚠ 注意

常に安全に、最高の性能でお使い頂くために、交換部品やアクセサリは BARONESS 純正部品をお求めください。
純正部品以外の部品をご使用になった場合、製品保証を受けられなくなる場合がありますので、ご注意ください。

メンテナンススケジュール

メンテナンススケジュールは、以下のとおりです。

⚠ 注意

メンテナンスをする際に必要な工具は、目的に合ったものを使用してください。

- ・・・点検、調整、補給、清掃
- ・・・交換(初回)
- △・・・交換

メンテナンス項目		作業前	作業後	5hごと	8hごと	10hごと	25hごと	50hごと	300hごと	1年ごと	備考
作業機	各部の締め付け	○									
	タイヤ	○									
	グリースアップ・注油 (ローリング支点部)					○					
	グリースアップ・注油 (その他)							○			
	Vベルト	○									
	油漏れ	○									
	油圧作動油	○								△	
	油圧オイルフィルター									△	
	油圧ホース	○									
	外観清掃	○									

消耗品については、保証値ではありません。

ドライブプーリーボルトは、作業前に必ず締め付けを確認してください。

規定値

油圧タンク容量		約 10.0 dm ³ (10.0 L)
ベルトの張り	連結ベルト	10 - 15 mm たわむ程度 (指で押した状態)
	駆動ベルト	15 - 20 mm たわむ程度 (指で押した状態)
	タインベルト	35 - 40 mm たわむ程度 (張った状態)

主な消耗部品

部品名	コード番号
V ベルト GLB55A-4 (HMC1560/1720、 HM1560K 連結)	K2344055000
V ベルト GLB55AG-6A (HM5500 連結)	K2346055000
V ベルト C-98 (駆動)	OR89-6114-009801
タインベルト (タイン)	OR84-1675-792-00
タイン	OR84-1675-821-00

メンテナンス

つり上げ

つり上げについて

警告

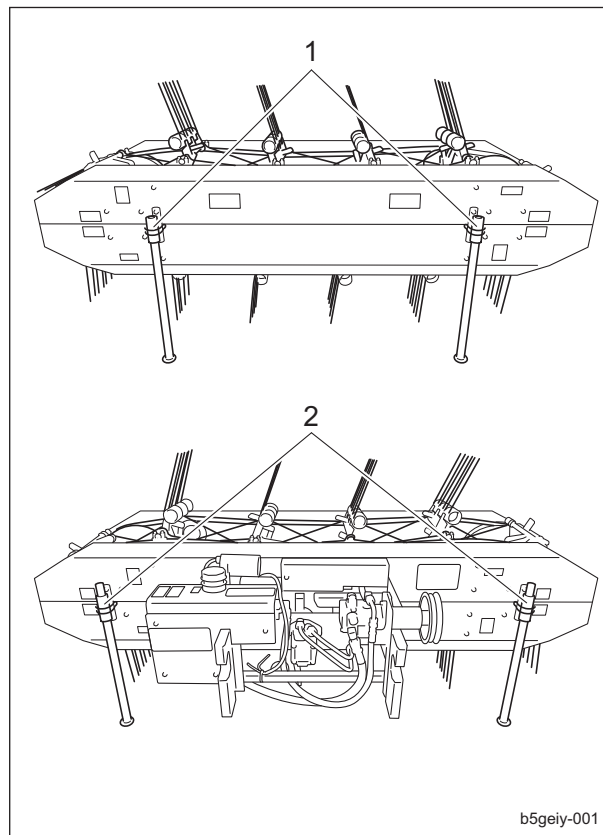
ホイストやクレーンを使用してつり上げ作業をする場合は、資格が必要です。

警告

機械をつり上げる場合は、平らな安定した場所で行ってください。
 機械をつり上げる前に安全作業の妨げになる障害物を取除いてください。
 必要に応じ、適切なホイストやクレーン及び、ロープを使用してください。
 つり上げは重心位置に注意してバランスを十分に取ってください。
 バランスが十分に取れていない場合は、落ちたりする恐れがあります。
 人身事故の原因となります。

機械をつり上げる場合は、つり上げポイントに記載してある位置で行ってください。
 指示された位置以外では、つり上げしないでください。
 フレームや部品が破損する恐れがあります。

つり上げポイント

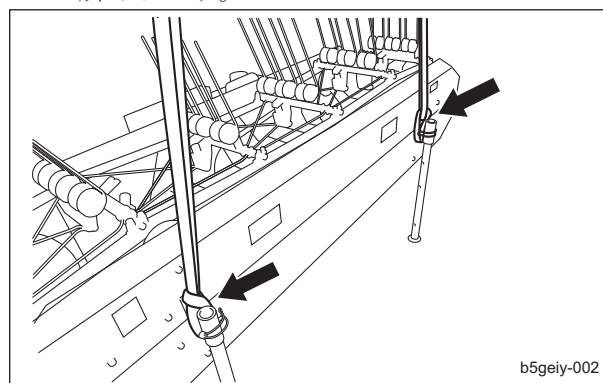


b5geiy-001

つり上げポイント_001

1	前部スタンド取り付け部
2	後部スタンド取り付け部

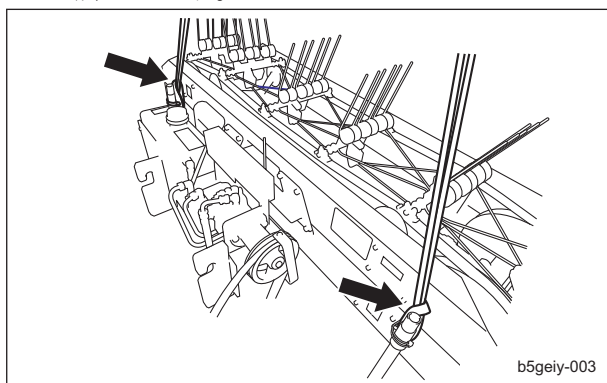
1. 前部スタンド取り付け部
2 か所あります。



b5geiy-002

つり上げポイント_002

2. 後部スタンド取り付け部
2か所あります。



つり上げポイント_003

メンテナンス

グリースアップ

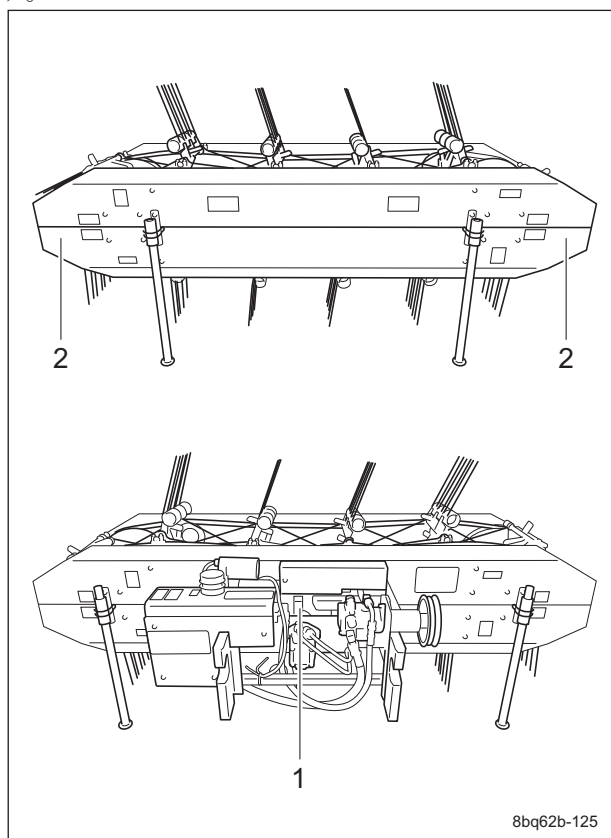
グリースアップについて

可動部がグリース切れにより、固着したり、破損したりする可能性がありますので、グリースアップの必要性があります。

メンテナンススケジュールに従って、ウレア系2号グリースでグリースアップしてください。
 その他指定のグリース、潤滑油を使用する場所は、「グリースアップ位置」に記載されています。
 指定のグリース、潤滑油でグリースアップしてください。

グリースアップ位置

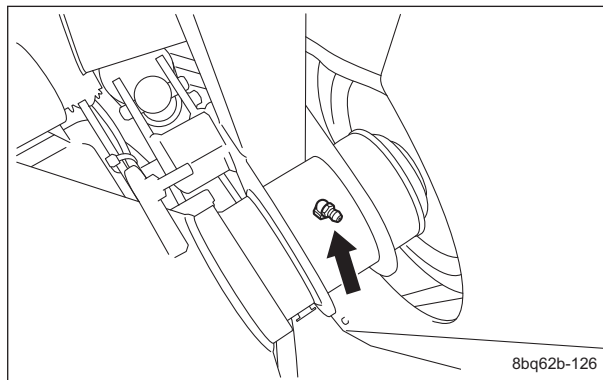
次の場所にグリースニップルが取り付けられています。



グリースアップ位置_001

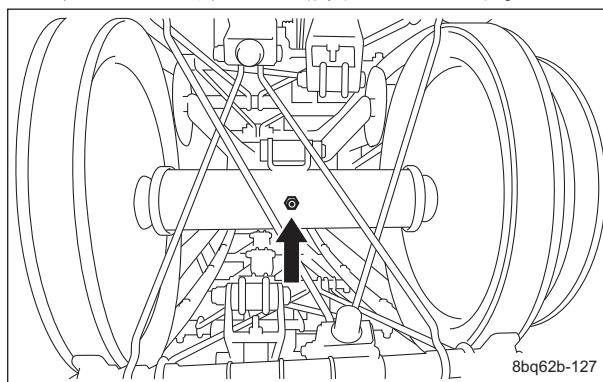
1	ローリング支点部
2	タイムベルトプーリー部

1. ローリング支点部
10 時間ごとにグリースアップしてください。



グリースアップ位置_002

2. タイムベルトプーリー部
50 時間ごとにグリースアップしてください。
左右プーリー部に1か所ずつあります。



グリースアップ位置_003

メンテナンス・作業部

ベルトの張り調整

⚠ 注意

ベルトの調整を行う場合は、必ずエンジンを停止させて行ってください。

重要

ベルトの張りは、規定値を確認してください。

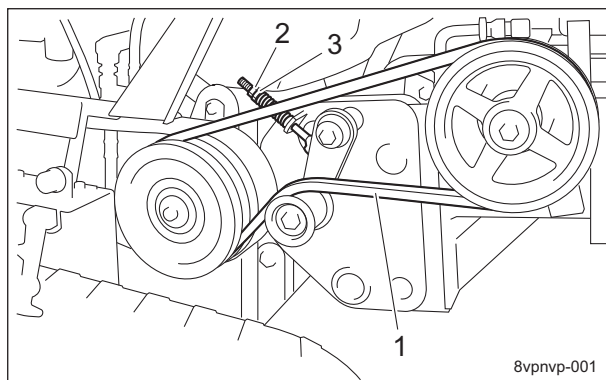
使用頻度により、ベルトが緩いと踊ったり、スリップする可能性があります。

また、張り過ぎると損傷が早くなる可能性があります。

必要に応じて調整し、いつも適切な張り具合に保ってください。

連結ベルトの調整

1. ロックナットを緩め、調整ナットでベルトの張りを調整します。



連結ベルトの調整_001

1	連結ベルト
2	ロックナット
3	調整ナット

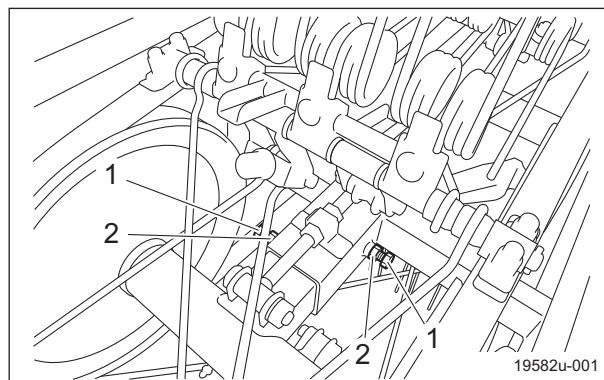
2. ベルトの中央を指で押さえて張り具合を確認してください。
ベルトの張りは、10 - 15 mm たわむ程度に調整します。
3. ロックナットで確実に固定します。

駆動ベルトの調整

重要

駆動ベルトの調整は、タイン駆動側プーリー（左側）位置の調整で行ってください。

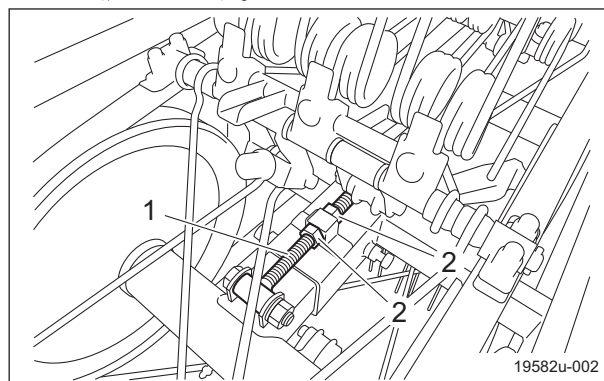
1. フレーム側のセットボルト、ナットを緩めます。



駆動ベルトの調整_001

1	セットボルト
2	ナット

2. テンションボルト側のナットで、ベルトの張りを調整します。

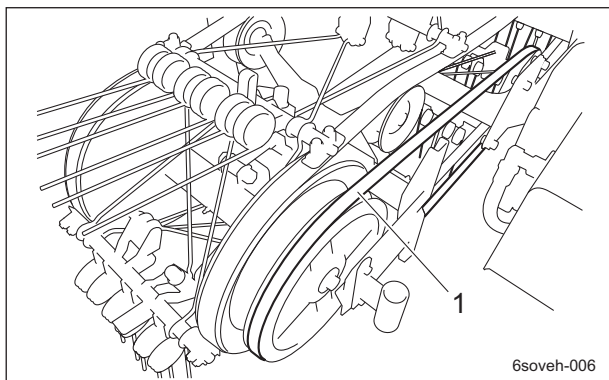


駆動ベルトの調整_002

1	テンションボルト
2	ナット

メンテナンス

3. ベルトの中央を指で押さえて張り具合を確認してください。
ベルトの張りは、15 - 20 mm たわむ程度に調整します。



駆動ベルトの調整_003

1	駆動ベルト
---	-------

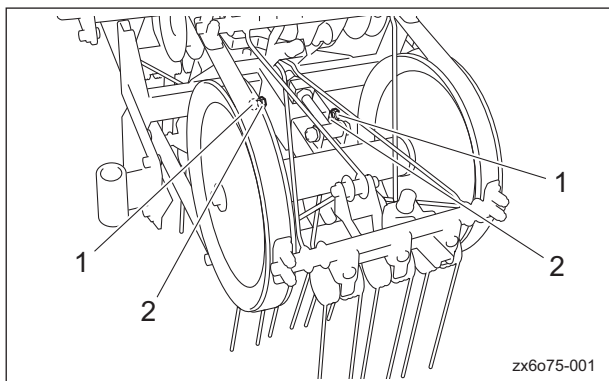
4. 調整後は、テンションボルトをナットでロックし、セットボルト、ナットを確実に締めます。

タイムベルトの調整

重要

タイムベルトの調整は、従駆動側のプーリー（右側）で行ってください。
駆動側プーリーで行うと、駆動ベルトの張り具合が変化します。

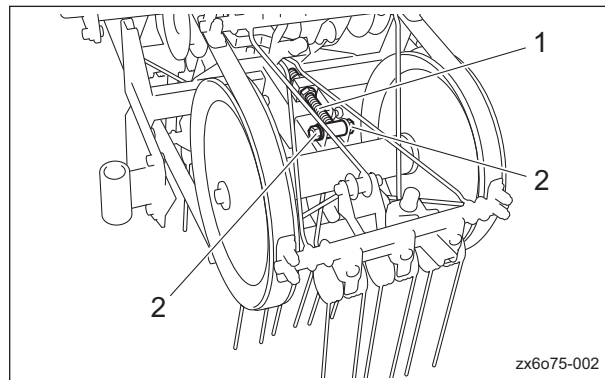
1. フレーム側のセットボルト、ナットを緩めます。



タイムベルトの調整_001

1	セットボルト
2	ナット

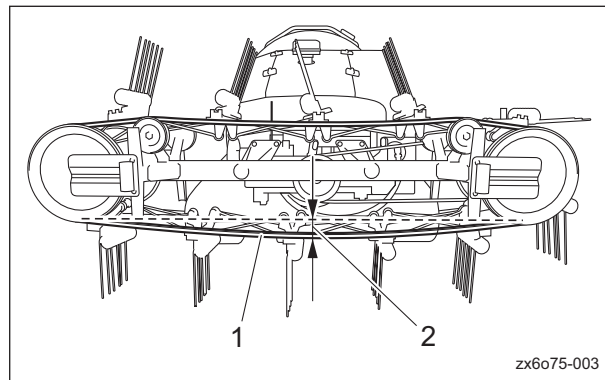
2. テンションボルト側のナットで、ベルトの張りを調整します。



タイムベルトの調整_002

1	テンションボルト
2	ナット

3. ベルトを張った状態で張り具合を確認してください。
ベルトの張りは、プーリー中心間でベルトが35 - 40 mm たわむ程度に調整します。



タイムベルトの調整_003

1	タイムベルト
2	35 - 40 mm

4. 調整後は、テンションボルトをナットでロックし、セットボルト、ナットを確実に締めます。

タインの交換

タイン

⚠ 危険

タインは先端がとがっており危険です。取り扱いには十分気をつけてください。

⚠ 注意

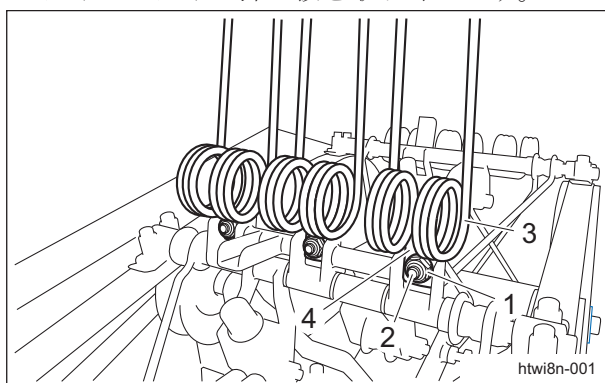
タインに触れる際は、必ず手袋を着用してください。

重要

タインの交換は全数同時に行い、タインの長さが均等になるようにしてください。
タインの長さが均等でないと作業効率が低下し、きれいに集草できません。

タインの磨耗により、集草がきれいにできなくなったら、タインを交換してください。

1. ボルト・ナットを緩め、タインホルダーからタインとタイン押え板を取り外します。



タイン_001

1	ボルト
2	ナット
3	タイン
4	タイン押え板

重要

タイン押え板には向きがあります。取り付ける際は、向きを間違えないように注意してください。

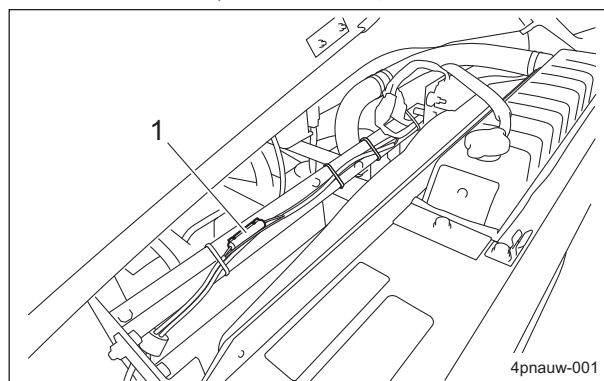
2. 新しいタインをタインホルダーにおさめ、タイン押え板と共に、ボルト・ナットで確実に固定します。

ヒューズの交換

ヒューズ

配線の中にヒューズがあります。
ヒューズは、管ヒューズ (3A) です。
規定容量のものと交換してください。

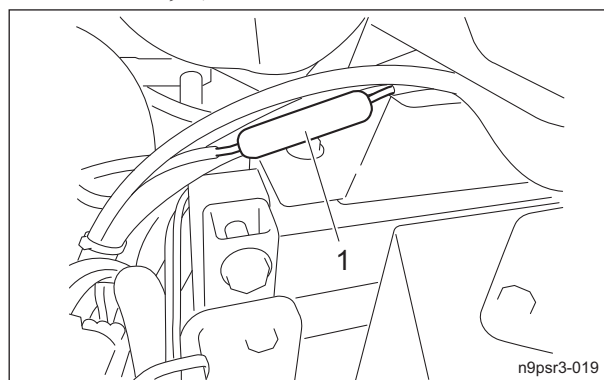
HMC1560/1720、HM1560K セット



ヒューズ_001

1	ヒューズ
---	------

HM5500 セット



ヒューズ_002

1	ヒューズ
---	------

長期保管

長期保管について

- ・ 泥や草屑、油汚れ等をきれいに落としてください。
- ・ 各注油箇所にごリース注入、塗布と、注油をしてください。

BARONESS[®]
Quality on Demand



株式会社 共 栄 社

〒442-8530
愛知県豊川市美幸町1-26

TEL (0533) 84-1221
FAX (0533) 84-1220